

技術番号
478 | プース番号
F-09

パルジェット

防災・安全等

技術番号
478 | プース番号
F-09



芦森工業株式会社

排水ポンプ車用緊急排水ホース



パルジェットは排水ポンプ車専用の排水ホースで、水害や災害現場へ出動した排水ポンプ車からすぐに使用できるように軽量化を重視した使いやすいホースです。排水ポンプの口径にあわせたホース径、また使用圧力にあわせたラインナップをご用意しています。

施工実績 東北地方整備局の各河川事務所に配備

●部署：芦森工業株式会社 パルテム営業部 ●TEL：03-3246-7304 ●FAX：03-3246-7311
●URL：www.ashimori.co.jp ●営業時間：8:45～17:45

担当者：梶谷

技術番号
534 | プース番号
F-32

NETIS：HR-120008-A

超速乾水性路面標示用塗料 アクアSQD工法

防災・安全等

技術番号
534 | プース番号
F-32

ATOMIX アトミクス株式会社

水性塗料最大の弱点である、低温・高湿度時の乾燥性・耐降雨性を著しく改善



○乾燥性・耐降雨性に優れる
天候の不順な時期や各種工種にも水性塗料の施工が可能となります。
○塗膜性能は従来工法と同等
ハードラインアクア#21C-10・H-60の乾燥性等著しく向上させ、基本性能を損なうことはありません。
○従来のラインマーカー車で施工可能
速乾システムユニットを追加設置するだけで施工ができます。
○VOCの削減・非危険物
水性路面標示用塗料ハードラインアクア#21（グリーン購入法特定調達品目に指定）を使用しますのでVOC含有量が5%以下です。

施工実績 青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島

●部署：道路事業部 ●TEL：022-249-7371 ●FAX：022-249-7372
●URL：http://www.atomix.co.jp ●営業時間：8:30～17:30

担当者：渡辺、山下

技術番号
535 | プース番号
F-32

点字ブロック専用速乾塗装材 SFG明示工法

防災・安全等

技術番号
535 | プース番号
F-32

ATOMIX アトミクス株式会社

見え難くなった点字ブロックを鮮やかに明示させる塗装工法です



○付着性・耐磨耗性・防滑性に優れる
点字ブロックへ専用プライマーを塗布することで、付着し難いブロック面でも優れた付着性を確保し、上塗りには特殊樹脂を使用しているため耐摩耗性も優れています。
○速乾のため工期短縮が可能です
特殊速乾樹脂を使用のため乾燥性が優れています。
○環境にやさしく、作業が容易です
環境に配慮した無鉛塗料で、1液型のため作業性に優れています。

施工実績 山形

●部署：道路事業部 ●TEL：022-249-7371 ●FAX：022-249-7372
●URL：http://www.atomix.co.jp ●営業時間：8:30～17:30

担当者：渡辺、山下

技術番号
536 | プース番号
F-32

遮熱型カラー塗装材 EM速乾遮熱工法

防災・安全等

技術番号
536 | プース番号
F-32

ATOMIX アトミクス株式会社

簡単な塗装をするだけで、路面温度の上昇を抑え、ヒートアイランド現象の緩和に有効な工法です



○温度低減効果
太陽光線による路面温度の上昇を抑制します。
○容易な管理
温度の低減のために、散水設備等の付帯設備は不要です。ランニングコストはかかりません。
○排水機能
排水性舗装、透水性舗装の機能を維持します。
○多様なカラー化
カラー化が可能です。視認性・景観性が向上します。
○水性塗料
有機溶剤、VOC（揮発性有機化合物）の含有量がわずかであるため、VOCの削減に貢献します。非危険物であるため、火気の心配がありません。

●部署：道路事業部 ●TEL：022-249-7371 ●FAX：022-249-7372
●URL：http://www.atomix.co.jp ●営業時間：8:30～17:30

担当者：渡辺、山下

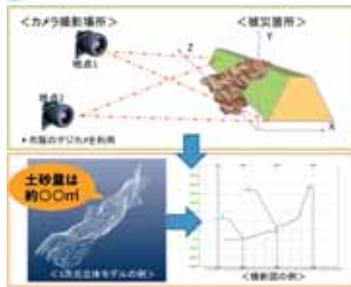
技術番号
557 ブース番号
F-44

3次元立体モデル簡易計測技術

防災・安全等

技術番号
557 ブース番号
F-44

いであ株式会社



市販のデジタルカメラで撮影した複数枚写真から 3次元立体モデルを構築し、簡易計測を行います

本技術は、複数地点から対象物を撮影した写真を利用し、画像解析により3次元立体モデルを構築し簡易計測を行う技術です。

3点以上の既知点 (x,y,z) が写真内に映り込むことで、絶対座標をもつ3次元立体モデルを構築することができます。また既存の測量成果を活用することで、災害発生時の変化状況や河口砂州等の経年変化を把握・モニタリングすることができます。

●部署：情報システム事業本部 防災情報システム部 ●TEL：03-6328-5823 ●FAX：03-6828-5801
●URL：http://ideacon.jp/ ●営業時間：9:00～17:30

担当者：小藪剛史、望月優生

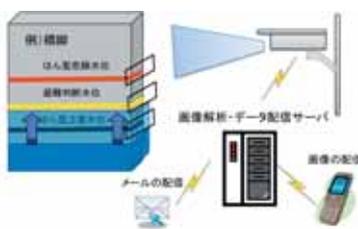
技術番号
558 ブース番号
F-44

リアルタイム画像による防災対策システム

防災・安全等

技術番号
558 ブース番号
F-44

いであ株式会社



リアルタイム映像から危険事象を短時間に捉え、 関係者へアラートメールを配信します

本技術は、CCTVやネットワークカメラ等で撮影された監視画像や映像をリアルタイムに解析処理することで、様々な危険事象を遠隔地から自動で監視することができます。

このシステムでは、画面内の任意箇所「枠」を設定し、枠内で検出した異常を判別し、管理者や住民等に対してメールを配信します。これにより、急激な水位上昇や土石流等の危険情報などを迅速に通知することができます。

●部署：情報システム事業本部 防災情報システム部 ●TEL：03-6328-5823 ●FAX：03-6828-5801
●URL：http://ideacon.jp/ ●営業時間：9:00～17:30

担当者：小藪剛史、望月優生

技術番号
559 ブース番号
F-44

Androidタブレットを用いた減災アプリ

防災・安全等

技術番号
559 ブース番号
F-44

いであ株式会社



避難方向表示の画面例

避難場所までの距離・方向を案内し、現在位置の想定浸水深を確認 できるアプリを開発します

自然災害から被害を減らすことを目的に、いつでも、どこからでも、現在位置から避難場所までの距離や方向を案内でき、現在位置の想定浸水深を確認できるアプリケーションのデモ版を開発いたしました。減災アプリ（デモ版）には、以下の機能をご用意しています。

1. 「避難方向」：避難場所までの距離や方向を案内する機能
2. 「水位表示」：現在位置の想定浸水深をイメージ表示する機能

●部署：情報システム事業本部 防災情報システム部 ●TEL：03-6328-5823 ●FAX：03-6828-5801
●URL：http://ideacon.jp/ ●営業時間：9:00～17:30

担当者：小藪剛史、望月優生

技術番号
519 ブース番号
F-26

生活支援マッピングシステム

防災・安全等

技術番号
519 ブース番号
F-26

株式会社 エイテック
Advanced Technology Enables Comfortable Life



地域住民の生活と密接な関わりのある様々な地物や情報（例として、通学路、自転車道、街路灯、街路樹、公園、各種統計情報など）をGIS上で表現することにより、多種多様な用途を導き出せるシステムです。

地域住民の生活と密接な関わりのある様々な地物や情報のうち、今回は学校位置、学校区、通学路、通学路上での危険箇所、事故多発道路、不審者発見地点等に着眼しGISに取り込みます。これにより、小学校・中学校の通学路あんしん・あんぜんマップを表現する事が出来るとともに、通学路におけるリスク回避のための資料として、また通学路の見直し計画の資料として役立てることが出来ます。

●部署：(株)エイテック 関西支社 技術部 空間情報グループ ●TEL：06-4869-3365 ●FAX：06-4869-3320
●URL：http://www.kk-atec.jp/ ●営業時間：9:00～17:30

担当者：竹崎 賢志、藤原 友作

技術番号
522 | ブース番号
F-27

橋台等と背面盛土の地震対策型段差抑制工

防災・安全等

技術番号
522 | ブース番号
F-27

ACKグループ
株式会社オリエンタルコンサルタンツ



安全・安心な道路防災を目指して、橋台等の構造物に接続する地震対策型段差抑制工の共同開発

東日本大震災等では、橋台との接続盛土部が多数損傷し、道路交通の分断が発生しました。地震時に橋梁は耐震性が発揮されたものの、連続する盛土部は大きく沈下し、道路一連としての耐震向上が必要になっています。その対策となる地震対策型段差抑制工は、ジオグリッドと拘束部材を用いて粒状材により路床部を構築し、最大規模の地震時を想定した60cm程度の沈下に対して、段差抑制を図り、車両通行が可能なることを確認しています。また、橋台等との接続は、アンカーボルト・台座・円形固定材を用いて確実に接続しており、耐久性の高い構造としています。本工法は、中央大学研究開発機構、(株)NIPPO、前田工織(株)、(株)オリエンタルコンサルタンツの産学連携で開発しました。

●部署：株式会社オリエンタルコンサルタンツ 関東支店 保全防災事業部門 道路保全部 ●TEL：03-6311-7862
●URL：http://www.oriconsul.com

担当者：川崎 始

技術番号
524 | ブース番号
F-27

時空間MRFを用いた各種サービス

防災・安全等

技術番号
524 | ブース番号
F-27

ACKグループ
株式会社オリエンタルコンサルタンツ



画像解析（時空間 MRF）技術を活用して、自動車・自転車・歩行者の挙動・流動を調査・分析

交通対策の実施や開発の影響分析などの基礎データとして活用可能
時空間MRFとは、画像解析によって車や自転車、人などの異動物体の動きを捉え、物体の大きさ、速度、軌跡をデータとして取得することを可能とするものです。この技術を用いることで、自動車の交通流動解析、歩行者や自転車のサービス評価、CCTV映像を用いた画像トラッキング機能付加等を行うことが可能となります。

●部署：株式会社オリエンタルコンサルタンツ 交通技術部 ●TEL：03-6311-7858 ●FAX：03-6311-8027
●URL：http://www.oriconsul.com

担当者：田中 淳

技術番号
517 | ブース番号
F-25

地中熱ヒートポンプシステムのための熱応答試験

防災・安全等

技術番号
517 | ブース番号
F-25

ACKグループ
株式会社
アサノ大成基礎エンジニアリング



熱応答試験のメリットは？

地中熱ヒートポンプは、年間を通じてほぼ一定の温度を有する地盤や地下水を熱源にヒートポンプを組み合わせたエネルギー効率の高い冷暖房システムです。天候や昼夜を問わず、どの地域でも利用が可能で、電気代やCO₂の削減に貢献します。熱応答試験は地中熱ヒートポンプシステムで実際に採熱する地盤の(見かけの)熱伝導率を測定する試験です。実地盤の熱伝導率がわかると、システム設計の精度向上につながり、過剰設計(コストの上昇)を防げます。特に大規模な冷暖房システムの場合は効力を発揮します。

施工実績 モンゴル・地中熱ヒートポンプ等を活用した建築物省エネ推進に関する新メカニズム実現可能性調査、東京都足立区税事務所(23)改築工事 地盤調査及び敷地測量

●部署：株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 資源エネルギー事業部 ●TEL：055-462-2880
●URL：http://www.atk-eng.jp ●営業時間：9:00～17:30 ●FAX：055-462-2880

担当者：田岸宏孝、小久保達生

技術番号
518 | ブース番号
F-25

SH型貫入試験

防災・安全等

技術番号
518 | ブース番号
F-25

ACKグループ
株式会社
アサノ大成基礎エンジニアリング



動的サウンディング：一打撃ごとの貫入量を自動計測することにより、正確に地盤の貫入抵抗を判定。

動的サウンディングの一般的な手法として、標準貫入試験(N値)や簡易動的コーン貫入試験(Nd値)がありますが、いずれも所定の長さを買入させるのに必要な打撃回数を求めるというものです。一方SH型貫入試験では、一打撃ごとに貫入抵抗値Nd/drop値を求め、データ量が多く精細なNd/drop図が得られ、土層区分が容易となります。特に薄いすべり面や弱部の把握に有効です。はじめに3kgのおもりを50cm落下させたときのコーン貫入量を一打撃ごとに自動計測し、途中で貫入が困難になったところで2kgのおもりをプラス(計5kg)し、再度計測を続けます。

施工実績 平成21年度馬淵川管理施設ボーリング調査業務 平成22年度待浜地区地盤調査業務 平成22年度夏井地区地盤調査業務 一般国道284号真滝バイパス道路災害復旧地質調査修正設計業務委託

●部署：株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 東北支店 ●TEL：022-295-5768
●URL：http://www.atk-eng.jp ●営業時間：9:00～17:30 ●FAX：022-295-5725

担当者：山田紀之、寺田正人

技術番号
492 F-14

NETIS : KT-010053-V

S R-C F工法 (炭素繊維による耐震補強工法)

防災・安全等

技術番号
492 F-14

S R-C F工法研究会

既存RC、SRC造建築物構造部材の補強に炭素繊維シートとCFアンカーを使用し閉鎖型にして補強・補修する技術



炭素繊維シートを用いて、建築物の独立柱、垂壁・腰壁付柱、袖壁付柱、耐震壁、スラブ付梁等の耐震部材を補強する工法です。CFアンカー（炭素繊維ストランドを束ねたもので、この束ねたストランドの端部を扇状に広げて炭素繊維シートに接着します）を併用することにより、炭素繊維シート補強のメリットである施工性、安全性、静粛性はそのままに、壁付柱やスラブ付梁・耐震壁にも、独立柱と同様に高い補強効果が得られます。建築物の耐震補強だけでなく橋脚・橋梁、水処理施設等のコンクリート構造物などの補強分野に炭素繊維シートとCFアンカー併用による補強実績も拡大しています。

施工実績 建築物の耐震補強：1,176件（内、東北6県：171件） 橋脚・灯台等の土木構造物の補強：127件（内、東北6県：16件） 実績は平成24年1月末現在

●部署：新日鉄住金マテリアルズ（株）コンポジット社内
S R-C F工法研究会 事務局
●URL : <http://www.sr-cf.com/>

●TEL : 03-5623-5558 ●FAX : 03-5623-5551
●営業時間：9:00～18:00

担当者：藤田 忠夫

技術番号
056 A-28

NETIS : KT-990309-V

SEEE永久(ランクA)グラウンドアンカー工法 タイブルアンカーU型

防災・安全等

技術番号
056 A-28

株式会社エスイー

頭部定着具の耐震性と緊張力調整機能が確認された
唯一のグラウンドアンカー工法



本技術はナット定着・摩擦圧縮型の永久（ランク A）グラウンドアンカー工法で、砂防・地すべり技術センターの技術審査証明において、頭部定着具の耐震性と緊張力調整機能が確認された唯一のアンカー工法である。そのため、将来の地震を考慮した対策や荷重変動に伴う有効な維持管理が可能となる。さらに、短納期可の工場製品なので、早期復旧が要求される工事において工期縮減や現場作業省力化に貢献できる。

施工実績 一級町道愛宕山線愛宕地区道路災害復旧（23 災 572） 岩手県沿岸広域振興局
胆沢ダム尿前地区法面対策工事 国土交通省東北地方整備局胆沢ダム工事事務所
など、災害復旧を含めて実績多数

●部署：株式会社エスイー 東北支店
●URL : <http://www.se-corp.com/>

●TEL : 022-792-0450 ●FAX : 022-792-0445
●営業時間：9:00～17:45

担当者：野澤忠明、兼子英之、斎藤春佳

技術番号
057 A-28

NETIS : SK-990017-V

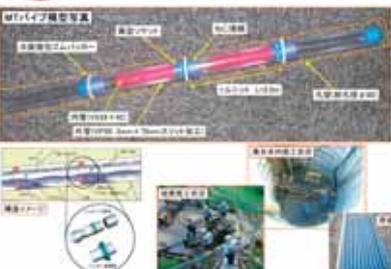
MTパイプ(二重式排水管)による水抜きボーリング工法

防災・安全等

技術番号
057 A-28

株式会社エスイー

パッカーと二重式排水管構造の採用により
高い集水効果を発揮する水抜きボーリング工法



本技術は、地下水排除工（水抜きボーリング）の効果を向上するために開発したものである。従来の単管による排水では、地下水を十分に捕捉することが困難で、また集めた地下水も流下するうちに地盤内に漏水したり、すべり面の奥から集めた地下水をすべり面あるいはそれにつながる亀裂に供給する恐れがあり、逆に地すべりを助長してしまうなどの問題点が指摘されていた。本技術はパッカーと二重管式排水管の構造を採用しているため、地下水を確実に捕捉するとともに、一度捕捉した地下水を漏水させないことで、確実な集水（排水）効果を発揮する。

施工実績 国道279号道路災害防除工事 青森県下北地域県民局
22災 第38号 国道338号道路災害復旧工事 青森県下北地域県民局
H22年度上野新田3期地区ため池等整備事業第1工区工事 など、実績多数

●部署：株式会社エスイー 東北支店
●URL : <http://www.se-corp.com/>

●TEL : 022-792-0450 ●FAX : 022-792-0445
●営業時間：9:00～17:45

担当者：野澤忠明、兼子英之、斎藤春佳

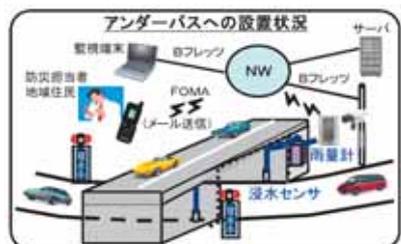
技術番号
183 B-03

浸水情報通知・配信サービス (GAIA FITS)

防災・安全等

技術番号
183 B-03

NTT InfraNet NTTインフラネット株式会社 東北支店



アンダーパス・地下設備などの冠水・浸水状況を遠隔監視し、検知情報を施設管理者様・関係者及び住民の皆様いち早く、ダイレクトに配信します。お客様のサーバ設備は不要で、クラウド型の情報配信通知サービスです。

【特徴】
・浸水情報の電子メール配信は、最大1万箇所まで設定可能であり、施設管理者様だけでなく、居住者の皆様等へもダイレクトに情報を配信できます。
・監視システムとして、セキュリティの優れたNTTグループのデータセンターのサーバを利用することで、お客様のサーバ設備は不要です。
・監視システムへの通信回線は、携帯電話網、一般電話回線のどちらでも対応可能で、携帯電話、パソコンをご用意いただくだけで、複数設備の集中監視に対応が可能です。
・浸水検知センサは、電子部品を持たない光ファイバ方式を採用し、故障率が極めて低く長寿命です。
・現地に監視カメラを設置することにより冠水、浸水状況の確認が可能です。

●部署：東北支店 事業開発部
●URL : <http://www.nttinf.co.jp/>

●TEL : 022-213-1968 ●FAX : 022-726-7887
●営業時間：9:00～17:30

担当者：鈴木、高橋

防災・安全等

技術番号
602

ブース番号
I-03

NETIS: KT-080015

パネル式防護柵

防災・安全等

技術番号
602

ブース番号
I-03



株式会社 エムオーテック

**崩落災害の発生時や法面の工事で、
設置・撤去が簡単な仮設の防護柵です。**



本技術は、鋼製のパネルを利用した落石防護柵です。従来は道路改良の法面工事や崩落災害の発生時に仮設の防護柵を設置する場合には、H鋼支柱に鋼矢板を溶接等で取り付けていましたが、「パネル式防護柵」では専用固定金具を利用してボルトで取り付ける方法としたため、仮設防護柵の設置・撤去の作業性を大幅に向上させることが出来ます。活用メリットとしては ①工期の短縮 ②パネルと支柱の連結性が高く落石の衝突エネルギーを吸収できる ③設置・撤去に特殊な技術を必要としない ④緊急災害発生時に材料の入手が容易である

施工実績 東北地方整備局 35件 東北地方の公共機関(県・市町村) 70件

●部署：株式会社 エムオーテック 東北支店 営業部 ●TEL：022-261-3711 ●FAX：022-263-7559
●URL：http://www.motec-co.jp ●営業時間：9:00～17:00

担当者：沖 裕彰 増本 裕昭

技術番号
603

ブース番号
I-03

NETIS: KT-980619

(仮設ガードレール) ミニガードシステム

防災・安全等

技術番号
603

ブース番号
I-03



株式会社 エムオーテック

ドイツ生まれの移動式仮設ガードレールです。



「ミニガードシステム」は、材質が亜鉛メッキスチール材で本体部エレメントとターミナル部(スタート、エンド)から構成された移動式防護柵(プレハブガードレール)です。本システムは次のような効果が挙げられます。①エレメント1体が軽量なので重機作業が不要。②機能的なデザインで安全性と美観性が向上 ③車両が衝突した場合にエレメントの曲線構造により脱輪・横転を防止し、衝突後の車両を正しい走行方向に誘導が可能。④曲線半径 R=80m 程度まで対応できる。⑤材料は全てリース材で産業廃棄物が発生しない。

施工実績 東北地方整備局 3件 東北地方の公共機関(県・市町村) 20件

●部署：株式会社 エムオーテック 東北支店 営業部 ●TEL：022-261-3711 ●FAX：022-263-7559
●URL：http://www.motec-co.jp ●営業時間：9:00～17:00

担当者：沖 裕彰 増本 裕昭

技術番号
597

ブース番号
I-01

ボウシン

防災・安全等

技術番号
597

ブース番号
I-01



(株)オカグレート

**全ての制震工法で唯一「復元機能」を備えた製品。
揺れを吸収・粘り強く抵抗・形状を復元します。**



制震装置ですでに市場に出回っている製品は、固めるか、減衰するいずれかの金物で、残念なことに建物を「復元」するという機能はありません。しかし地震による被害の第一は揺れによるものです。揺れは家具などを転倒させ、室内を破壊し、建物を倒壊させます。「ボウシン」は地震の揺れに抵抗、減衰をし、巨大地震で歪んだ建物を「復元」して地震から建物を守ります。

●部署：(株)オカグレート 東北支社 営業部 ●TEL：022-345-3657 ●FAX：022-347-1058
●URL：http://www.okagrate.com ●営業時間：8:30～17:30

担当者：荒 栄一

技術番号
598

ブース番号
I-01

アンダーホールナット

防災・安全等

技術番号
598

ブース番号
I-01



(株)オカグレート

**ナットに求める理想をカタチにした「密着力」・「締結力」に優れた
ゆるまないナット**



ナットに求める理想…「ゆるまない」「ネジが錆びない」「水漏れしにくい」。従来は実現不可能だと思われていたこの機能を実現しました。素材である「エラストマーブラック材」の弾性変化(元に戻る性質)を利用しているのがポイントで、ネジ山に密着。用途を問わずあらゆる製品の締結に活躍します。

●部署：(株)オカグレート 東北支社 営業部 ●TEL：022-345-3657 ●FAX：022-347-1058
●URL：http://www.okagrate.com ●営業時間：8:30～17:30

担当者：荒 栄一

技術番号
548 ブース番号
F-39

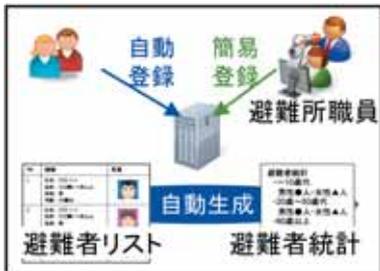
人物検知～防災活用ソリューション

防災・安全等

技術番号
548 ブース番号
F-39

OKI 沖電気工業株式会社

顔・映像認識技術活用による人物検知システムの防災活用ソリューション



顔・映像認識技術により、人数・性別・年齢を分析し人物検知センサとして活用します。

- 避難所運営支援
 - ・人数・性別・年齢に応じた支援物資の適正配置計画支援
 - ・性別・年齢別分類による安否確認支援
- 侵入検知センサ
 - ・緊急避難階段等への人物侵入検知（通常時は侵入センサ、有事は避難者状況収集として活用）

●部署：北日本支社 営業第二部 営業第一課 ●TEL：022-225-6609 ●FAX：022-225-6687
●URL：http://www.oki.com/jp/ ●営業時間：8:30～17:15

担当者：保田、渡邊、俵

技術番号
549 ブース番号
F-39

工事車両管理システム

防災・安全等

技術番号
549 ブース番号
F-39

OKI 沖電気工業株式会社

DSRCを活用した工事車両管理ソリューション



DSRCの活用により工事車両の走行状況の把握、走行履歴の管理を行います。

- 蓄積型情報提供機能活用
 - 設定した最適な位置で走行ルート上の注意ポイント、作業指示情報等を工事車両に通知します。
- プローブ情報活用
 - 工事車両の走行状況をDSRCアンテナより走行履歴情報として収集し解析する事で、計画通りのルートを計画通りの時間で走行しているかを監視します。
 - また、収集タイミングでリアルタイムの車両通過を検知します。

●部署：北日本支社 営業第二部 営業第一課 ●TEL：022-225-6609 ●FAX：022-225-6687
●URL：http://www.oki.com/jp/ ●営業時間：8:30～17:15

担当者：保田、渡邊、俵

技術番号
048 ブース番号
A-24

免震・耐震改修技術

防災・安全等

技術番号
048 ブース番号
A-24

奥村組
OKUMURA CORPORATION

要求される耐震性能に応じて適切な補強方法を選択



耐震改修には、建物そのものの強度や変形性能を向上させて地震に抵抗する「耐震構造による補強」と、建物に作用する地震力を低減または吸収することで、より高い安全性をもたらす「免震・制震構造による改修」があります。奥村組は、建物用途や敷地条件、要求される耐震性能に応じて適切な補強方法を選択します。

●部署：東北支店 建築部 ●TEL：022-273-9835

担当者：関 裕一

技術番号
555 ブース番号
F-43

車両運行管理システム “スマートG-safe”

防災・安全等

技術番号
555 ブース番号
F-43

100年をつくる鹿島
鹿島建設株式会社

タブレット型GPS端末を利用した車両運行管理システム「スマートG-safe」



「スマートG-safe」は、タブレット型GPS端末を利用して、ダンプ等の運搬車両の位置をリアルタイムに把握し、交通状況に応じたルート変更指示や落下物発見等の緊急通報などの双方向連絡が可能な車両運行管理システムです。

- <適用事例>
- 石巻ブロック災害廃棄物処理業務

●部署：東北支店 管理部購買・広報グループ ●TEL：022-261-9714 ●FAX：022-261-9513
●URL：http://www.kajima.co.jp/ ●営業時間：8:30～17:15

担当者：貝沼

技術番号

ブース番号

NETIS: TH-040016-V

526

F-29

ピタリング (簡易式体感マット)

防災・安全等

技術番号

ブース番号

526

F-29



上北建設株式会社

「居眠り・脇見運転」から現場を守る、簡易式体感マット“ピタリング”



ピタリングは、通過する車両に対し「振動」と「音」を与え、注意喚起を促す工事保安用品です。現道工事現場でのセフティゾーン確保に力を発揮します。ピタリングの大きな特長は、【①道路面との粘着固定がなくても安定した使用が出来る】【②短時間での設置・撤去作業が出来、作業員の安全性が向上】【③これまで使用出来なかった「濡れ路面」の条件下でも使用が可能】ピタリングは、「現場の声」に耳を傾け今も尚、製品技術の向上に取り組んでいます。(ピタリングは「平成15年度、技術開発支援制度～(社)東北建設協会」による支援の下、開発された製品です)

施工実績 平成20～21年度 畑刈下地区歩道設置工事(青森河川国道事務所)、他多数。

●部署：上北建設株式会社 土木部技術推進室
●URL：http://www.pitaring.co.jp

●TEL：0176-23-3511 ●FAX：0176-23-3512
●営業時間：8:00～17:00

担当者：下川原 隆

技術番号

ブース番号

バリバン (単管バリケード用視線誘導・保護カバー)

防災・安全等

技術番号

ブース番号

527

F-29



上北建設株式会社

“バリバン”により、使い慣れた単管バリケードの「機能性と安全性」が向上します。



バリバンは、現道で使用している「単管バリケード」へ簡単に装着でき、反射材と製品色による“視線誘導効果”や、製品断面構造等による車両追突時の“衝撃緩衝効果”など、単管バリケードの機能性・安全性を向上させます。また、メッセージシートを活用すれば、補助的な看板の役割を果たし、一般ドライバーへ“注意喚起”も促せる、単管バリケード用視線誘導・保護カバーです。

施工実績 平成22年度 七戸地区他防雪柵設置工事(青森河川国道事務所)、平成23年度 東北地区道路改良工事(青森河川国道事務所)、平成23年度 長沢橋線橋梁整備工事(十和田市役所建設部土木課)

●部署：上北建設株式会社 土木部技術推進室
●URL：http://kamikita.co.jp

●TEL：0176-23-3511 ●FAX：0176-23-3512
●営業時間：8:00～17:00

担当者：下川原 隆

技術番号

ブース番号

NETIS: QS-120001-A

511

F-23

テリオスコート美装防汚工法

防災・安全等

技術番号

ブース番号

511

F-23



クリスタルコンクリート協会 東北支部

環境にやさしい無機材料による防汚塗装



汚染環境に曝される土木・建築構造物表面(コンクリート・タイル等)に対し、環境にやさしい無機材料による塗装で、美装・防汚対策を施す技術で、無色透明から着色まで可能です。汚れが付着し難く、付着しても容易に除去でき、美装・防汚効果及び光沢保持性能が長期間維持できることから、LCC低減効果が期待できます。

●部署：(有)大坊建設
●URL：http://nikko-cca.com/

●TEL：0179-32-3580 ●FAX：0179-32-3582
●営業時間：9:00～17:00

担当者：大坊幸吉

技術番号

ブース番号

ケーブル保護管耐震継手

防災・安全等

技術番号

ブース番号

272

B-40



株式会社栗本鐵工所 東北支店

地震により発生する変位から、電力ケーブルや通信ケーブルなどを守ります。



ケーブル保護管は、電力用ケーブルまたは通信ケーブルなどを収容、保護することを目的に設置されます。ケーブル保護管に耐震継手を組み込むことで、地震時における複合的な変位に追従可能となり、ケーブル保護管の機能を維持できるため、ケーブルの被害を防止します。

●部署：化成品事業部 東北営業課
●URL：http://www.kurimoto.co.jp

●TEL：022-227-1893 ●FAX：022-227-1814
●営業時間：8:30～17:25

担当者：立石泰教、石戸谷吉彦

技術番号 プース番号 NETIS : KT-040039-V
475 F-08 EHDアンカー

防災・安全等

技術番号 プース番号
475 F-08

K J S協会 (共催：弘和産業グループ) 水密性、耐久性に配慮した引張り型の永久アンカー



EHDアンカーは、JIS G 3536に規定されたPC鋼より線に耐食性が強いエポキシ樹脂を被覆し、グラウトとの付着向上の目的で表面に細粒けい砂を埋め込んだ付着型ECFストランドを引張材に用いたアンカーである。
 テンドンの頭部、頭部背面および自由長と拘束長の境界部を堅牢に構成し、長期間安定した高い水密性1.0MPaを確保している。
 EHDアンカーは、土木・港湾・建築に適用し、最大荷重4959kNまで対応が可能なアンカーである。

施工実績 全国実績 685件 (2012.07.25 現在) 東北実績 60件

●部署：弘和産業株式会社 営業本部 営業部 ●TEL：0428-32-2811 ●FAX：0428-32-2818
 ●URL：http://www.kowa-anchor.co.jp ●営業時間：8:30～17:30

担当者：野口・越後

技術番号 プース番号 NETIS : KT-070027-A
476 F-08 キャップナット・ロックボルトシステム

防災・安全等

技術番号 プース番号
476 F-08

K J S協会 (共催：弘和産業グループ) 耐食性、施工性、経済性に優れたロックボルト



キャップナット・ロックボルトシステムは、腐食が最も懸念される頭部および頭部背面を亜鉛メッキ+飽和ポリエステルの二重防錆とした、耐久性の高いロックボルト工法です。
 頭部にはキャップ・ナット・角度調整機能を一体化したキャップナットを採用し施工性、経済性に優れた頭部固定システムです。また、頭部背面を二重防錆にすることで防錆材は不要となり環境に配慮した工法である。

施工実績 全国実績 179件 (2012.07.25 現在) 東北実績 41件

●部署：弘和産業株式会社 営業本部 営業部 ●TEL：0428-32-2811 ●FAX：0428-32-2818
 ●URL：http://www.kowa-anchor.co.jp ●営業時間：8:30～17:30

担当者：野口・今井

技術番号 プース番号 NETIS : KT-100055-A
477 F-08 HDネット工法

防災・安全等

技術番号 プース番号
477 F-08

K J S協会 (共催：弘和産業グループ) HDネットを使用した斜面安定工法



HDネット工法は、補強材による斜面全体の安定、HDネットによる中抜け土塊の崩落防止を目的とした新しい法面保護工法である。HDネット工法は、HDネット、補強材、HDプレート(上部、下部プレート)、ナットで構成される。補強材は下部プレートとナットで固定し、HDネットは上部プレートと下部プレートで挟み込み固定させる。HDネット工法はネットを確実に固定することができるため、凹凸が大きい場合を除き裏込め工は不要となる。

施工実績 全国実績 27件 (2012.07.25 現在) 東北実績 4件

●部署：K J Sエンジニアリング株式会社 営業技術部 ●TEL：0428-30-3450 ●FAX：0428-33-0181
 ●URL：http://www.kowa-anchor.co.jp ●営業時間：8:30～17:30

担当者：末吉・今井

技術番号 プース番号 NETIS : HR-100004-A
496 F-16 Geo BANK 工法

防災・安全等

技術番号 プース番号
496 F-16

Geo BANK工法研究会 ジオグリットを用いた補強土壁を構築し、落石・雪崩から保全対象物を防護する工法です。



Geo BANK工法には、ロックジオバンク(RGB)工法、スノージオバンク(SGB)工法の分類がある。RGB工法は緩衝体に高密度ポリエチレン製樹脂の立体ハニカム構造のテラセル、中詰材に単粒度採石を用いることで最大4500KJの落石エネルギーに対応することができる。また、補強土体に多方向ジオグリットを併用することにより、落石衝撃荷重の分散効果が期待できる。SGB工法は、雪崩衝突面にプレキャストコンクリートパネルを採用した工法である。

施工実績 山形県・最上総合支庁、岩手県・県北広域振興局

●部署：Geo BANK 工法研究会 事務局 ●TEL：025-201-9157 ●FAX：025-201-9158
 ●URL：http://www.geo-bank-sr.com ●営業時間：9:00～17:30

担当者：渡邊 忍

防災・安全等

技術番号 プース番号 NETIS:KT-990271-A
552 F-42

液状化対策技術 (Geo-KONG工法)

防災・安全等

技術番号 プース番号
552 F-42

株 鴻池組 東北支店



**振動・騒音が小さく、リサイクル材も使える環境にやさしい
 静的締固め工法『Geo-KONG工法』(液状化対策)**

従来の地盤締固め工法は、起振機により地盤中に砂杭(または砕石杭)を強制的に造成して軟弱地盤の強度増加を図りますが、施工時の振動や騒音が大きいことが課題でした。市街地や既設構造物の近傍での液状化対策として、静的締固め工法(Geo-KONG工法)は、2重管ケーシングを用い、内管を上下動させることで材料を突固めながら地中に圧入し、地盤を締め固める地盤改良工法です。振動・騒音が小さく、コンクリート廃材、スラグ等のリサイクル材を用いた事例でも砂等の天然材と同等の改良効果を確認しており、環境にも優しい工法です。東日本大震災では、浦安市などでも効果が実証されています。

施工実績 浦安明海26BL第11住宅建設工事

●部署:土木事業本部 技術部
 ●URL: <http://www.konoike.co.jp/>

●TEL: 03-5617-7790 ●FAX: 022-261-6504
 ●営業時間: 8:45~17:45

担当者: 楠見正人、山田浩幸

技術番号 プース番号
507 F-21

DEPP工法

防災・安全等

技術番号 プース番号
507 F-21

五洋建設株式会社東北支店



**静的圧入方式によるドレーン打設で振動・騒音・地盤変位が少ないため、
 既設構造物周辺での施工に適した液状化対策技術**

DEPP工法は静的圧入方式の打設機を用いてドレーンを地盤に挿入するため振動・騒音・地盤変位が少なく既設構造物周辺での施工に適しています。2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震では、東京や千葉などの埋立地で液状化による被害が生じましたが、本工法が施工された東京港15号地木材埠頭では液状化被害を免れています。これまで80件を超える施設で施工され、ドレーンの総延長は300万メートルを超えるDEPP工法は、過去の地震において重要施設の液状化被害を未然に防いでおり、東北太平洋沖地震でもその効果が実証されています。

施工実績 海自八戸護岸整備工事 防衛施設庁発注

●部署: DEPP工法研究会(五洋建設株式会社 土木企画部内(〒112-8576 東京都文京区後楽2-2-8)) ●TEL: 03-3817-7570
 ●URL: <http://www.depp-koho.jp/gaiyou/index.html> ●営業時間: 8:30~17:30 ●FAX: 0287-39-2131

担当者: 長津辰男、林健太郎、海野寿康

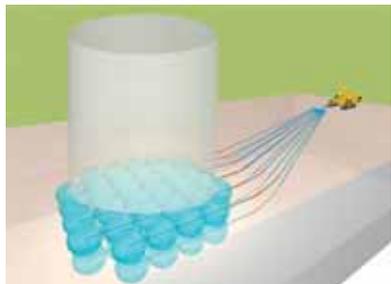
技術番号 プース番号 NETIS:KT-990230-V
508 F-21

浸透固化処理工法+曲がり削孔工法

防災・安全等

技術番号 プース番号
508 F-21

五洋建設株式会社東北支店



既存構造物直下の液状化対策技術

液状化が予想される砂質地盤に対して、溶液型の恒久薬液を低圧力で浸透注入することにより地盤を低強度固化し、液状化を防止する地盤改良工法です。粘性の小さい薬液を、地盤の土粒子構造を変えずに低圧力で浸透注入させるため、既存構造物への影響が少なく、施設を供用しながら液状化対策が実施できます。また、曲がり削孔工法を併用することで、構造物直下の液状化対策が可能であり、構造物直下にある杭等の障害物を避けながら削孔することもできます。

施工実績 仙台塩釜港仙台湾区中野地区岸壁(-12m)(改良)地盤改良外工事:(H18年度)
 国交省東北地整発注(浸透固化処理工法)
 八幡川防潮水門液状化対策工事(戦略):(H16年度) 宮城県発注(曲がり削孔工法)

●部署: 五洋建設株式会社 本社 技術研究所 地盤チーム ●TEL: 0287-39-2116
 ●URL: <http://www.penta-ocean.co.jp/> ●営業時間: 8:30~17:30 ●FAX: 022-211-6197

担当者: 林健太郎、秋本哲平

技術番号 プース番号 NETIS:HR-070018-A
551 F-41

簡易型高性能落石・防護柵 「イーフェンス」

防災・安全等

技術番号 プース番号
551 F-41

笹嶋工業(株) (イーフェンス工法研究会)

**「特殊緩衝装置と山間地における
 工事技術を活かした低コストの落石・雪崩防護柵」**

「イーフェンス」はシンプルな構造でありながら400KJまでのエネルギー吸収性を備えています。多様なニーズに対応出来るよう「擁壁タイプ」「路側地山根入れタイプ」「山腹タイプ」の3タイプを揃え、あらゆる施工現場に応じた工法を採用出来る体制を整えました。他の製品とは異なり、変位制限装置を用いて菱形金網を谷側に設置しているので支柱の損傷はめったに無く、維持管理においても低コストに配慮しています。

●部署: 土木建築工事部
 ●URL: <http://www.sasajima.net>

●TEL: 0763-22-8111 ●FAX: 0763-22-8855
 ●営業時間: 8:00~17:00

担当者: 川合・干場

防災・安全等

技術番号
543 | ブース番号
F-36

イワダレソウ改良品種「クラピア」/土壌改良材「天然樹皮繊維+ゼオライト」

防災・安全等

技術番号
543 | ブース番号
F-36

三共株式会社



土壌改良材「天然樹皮繊維+ゼオライト」を用いたイワダレソウ改良品種「クラピア」の緑化技術

多くの天然資源のなかで、「杉・ヒノキの樹皮繊維」と「ゼオライト」で改良した土壌は高い効果が示されている。テレビで紹介された「クラピア」の成長力をさらに増大させることに成功した。この素材は不朽性に富み、土中の持続力が高まり気相率（三相分布）が3倍になる。排水性・保水力の保持のほか抗菌性がある為、草花の根腐れが発生しにくい。

● 部署：三共株式会社 仙台支店 環境土木部 緑化推進室 ● TEL：022-393-5424 ● FAX：022-393-5427
● URL：http://sanken-web.co.jp ● 営業時間：8:00～17:00

担当者：大場

技術番号
544 | ブース番号
F-36

かんそくくん

防災・安全等

技術番号
544 | ブース番号
F-36

三共株式会社



従来システムを見直し大幅なコストダウンを実現！コストパフォーマンスに優れた気象観測データ配信システム

「かんそくくん」…道路の積雪深や気温、河川の水位等を自動計測し、インターネット経由でサーバにデータを転送し任意の端末からリアルタイムに閲覧するシステム。監視カメラの併設により遠隔地の状況をリアルタイムに把握できます。「かんちくくん」…道路のアンダーパス部において冠水を検知し、管理者にメールや電話で通報するとともに、無線信号により現地電光板を点灯させ危険告知するシステム。

● 部署：株式会社ジーアイシー 本社 企画部 ● TEL：0858-23-3553 ● FAX：0858-23-3554
● URL：http://www.gicon.jp/ ● 営業時間：8:30～17:30

担当者：田栗 牧野

技術番号
514 | ブース番号
F-24

**NETIS：KK-010027-V
電磁式流速・流向計**

防災・安全等

技術番号
514 | ブース番号
F-24



樋門や樋管の流速・流向を高精度に測定、遠隔制御を強力にサポート

本装置は主に河川の樋門や樋管の流向（順流・停止・逆流）・流速を電磁式により直接検出します。内水位と外水位の差と水面の監視だけでは判別できない逆流を検知します。昨今の水害などの安全対策として、今後の樋門・樋管などの遠隔監視・ゲート制御用センサーとして最適です。水面検知機能付で空中露出時の誤動作を防止します。

施工実績 雄物川・赤川・最上川・阿武隈川流域など20箇所以上

● 部署：水環境事業部 東北営業グループ ● TEL：022-711-7535 ● FAX：022-711-7534
● URL：http://www.jfe-advantech.co.jp/ ● 営業時間：9:00～17:30

担当者：菊池秀次・藤村哲也・相原耕二

技術番号
515 | ブース番号
F-24

投込圧力式水位計

防災・安全等

技術番号
515 | ブース番号
F-24



多彩な分野・用途に対し、幅広い品揃えで対応している投込圧力式水位計。水位監視や制御、観測に利用可能

河川や海水、上・下水、薬液に至るまで、多彩な分野・用途に対し、幅広いラインナップで対応しております。専用差動トランスを組み込んだ水位検出器は、堅牢な構造で衝撃に強く、故障が少なく、主要部に避雷回路を組み込み耐雷性抜群です。検出部には当社独自技術のペロフラム方式を採用することにより、寒冷地での凍結、ヘドロ堆積にも高い耐性を実現し樋門・樋管などの遠隔監視・制御用センサーとして最適です。

施工実績 東北地方整備局、県流域下水道事務所、市町村上下水道、東北農政局、東北電力、等

● 部署：水環境事業部 東北営業グループ ● TEL：022-711-7535 ● FAX：022-711-7534
● URL：http://www.jfe-advantech.co.jp/ ● 営業時間：9:00～17:30

担当者：菊池秀次・藤村哲也・相原耕二

技術番号
516 F-24

NETIS : KK-050041-A

高精度河川用超音波流量計

防災・安全等

技術番号
516 F-24

JFE アドバンテック 株式会社 東北支店



低周波・大出力センサー、流速分布解析ソフトにより、洪水・高濁度水・広幅河川の高精度・連続流量観測を実現

低周波・大出力センサーの実用化により洪水時の高濁度下、下流域等の広幅河川に対応可能となり、実測流速とシミュレーションの組合せで洪水から低水位状態まで無人で高精度連続観測が行えます。流量情報の他にも流速、流向情報を得られるため河川情報が充実しリアルタイムでの情報をご活用頂けます。また、汽水域での観測も可能です。

施工実績 津軽農業水利事業岩木川左岸弓袋排水路、東北電力十和田発電所、柳瀬発電所

●部署：水環境事業部 東北営業グループ ●TEL：022-711-7535 ●FAX：022-711-7534
●URL：http://www.jfe-advantech.co.jp/ ●営業時間：9:00～17:30

担当者：菊池秀次・藤村哲也・相原耕二

技術番号
464 F-03

多機能遮音柵

防災・安全等

技術番号
464 F-03

JFE 建材(株)
理研興業(株)



遮音機能と同時に、高い防雪・防風機能をもたせることができる多機能遮音柵。

従来の遮音壁で防雪・防風機能をもつものはなかったが、防雪柵と同等の防雪・防風機能を兼ね備えた製品が多機能遮音柵である。本技術を活用することにより、騒音対策と同時に風雪による道路の吹き溜まり防止や視程障害の緩和を図ることができる。構造は、従来の遮音壁と同様であり防雪・防風機能をもたせるためのユニットを装着することで多機能遮音柵とすることができる。遮音壁が3つの機能をもつことで、防雪・防風対策を必要とする場合に非常に有効的である。

●部署：理研興業(株)東北営業所 ●TEL：017-735-1888 ●FAX：017-735-2511
●URL：http://www.riken-kogyo.co.jp ●営業時間：9:00～17:00

担当者：理研興業(株) 相馬 直、中村真生
JFE建材(株) 中田昌之、吉田 智

技術番号
071 A-35

防災トイレシステム

防災・安全等

技術番号
071 A-35

SEKISUI 積水化学工業株式会社



貯留機能を持たせた災害トイレシステムで被災住民の苦痛を緩和

積水化学の災害トイレは、阪神淡路大震災後、防災拠点を整備する神戸市と共同で開発を進め、実際の震災時に発生したトイレ問題の知見を生かした製品となっています。貯留機能を持つ貯留槽と、管路を学校等の避難所に設置します。貯留槽は既設の下水道本管に接続し、管路には5基トイレを設置が可能、500人規模に対応します。緊急時に、学校等に保管された組立トイレを設置し、プール等から水を汲み入れ貯留します。1回/日で弁を開閉させ、汚水を一気に下水道本管に流すことで、管路内への汚物滞留を防止し、臭気の発生も軽減します。下水道本管が損壊して放流できない時は、バキュームカー等での収集も可能です。

施工実績 岩手県矢巾町立矢巾中学校

●部署：積水化学工業(株)環境・ライフラインカンパニー-東日本支店 東北営業所 公共インフラグループ ●TEL：022-298-6043 ●FAX：022-298-6047
●URL：http://www.eslontimes.com/ ●営業時間：9:00～17:30

担当者：久保、遠藤、石橋、平野

技術番号
468 F-05

圧入施工技術「ノンステーキング工法」

防災・安全等

技術番号
468 F-05

JPA 全国圧入協会



無駄な仮設工事が不要で、杭連続壁を最小の工程で急速に構築

「ノンステーキング工法」は、杭の搬送・建て込み・圧入の全作業を杭上の限られたスペースだけで行う圧入施工技術です。狭隘地や低空頭地での連続的な圧入施工を可能としたほか、水上や傾斜地においては仮設橋などの仮設工事を一掃し、大幅な工期短縮、工費削減、環境負荷の低減を実現しています。ノンステーキング工法は、鋼矢板や鋼管矢板、コンクリート矢板など幅広い杭材にも対応しており、鉄筋コンクリートを打ち抜いて杭を圧入できる「ジャイロプレス工法®」や、岩盤や砂礫・玉石層などの硬質地盤に杭を圧入させる「硬質地盤クリア工法」などと組み合わせることで、施工場所や施工地盤を選ばず急速に省スペースで圧入施工が行えます。

施工実績 KN22-30号河川災害復旧工事(秋田県本庄市 芋川)

●部署：全国圧入協会 東北事務所 ●TEL：022-380-6430 ●FAX：022-380-6411
●URL：http://www.atsunyu.gr.jp ●営業時間：9:00～17:00

担当者：福丸茂樹、永野匡史

防災・安全等

技術番号
469 | ブース番号
F-05

NETIS: KT-060020-A

圧入施工技術「ジャイロプレス工法」

防災・安全等

技術番号
469 | ブース番号
F-05

JPA 全国圧入協会



障害物を貫通する先端ビット付き鋼管杭の回転切削圧入

先端ビット付き鋼管杭に「回転+圧入」力を加えて地盤に回転切削圧入することで、玉石層や岩盤などの硬質地盤をはじめ、コンクリート構造物などの地中障害物も貫通して杭連続壁を構築できる圧入工法です。静的荷重を用いた低振動・低騒音施工に加え、地盤を回転切削する施工法により排土量を大幅に抑制します。控杭や前面支持杭などの斜杭施工にも対応しており、既設の構造物を残置したままで構造物の再生や機能強化が行えます。杭の搬送・建て込み・圧入の全作業を杭上だけで行う「ノンステージング工法」と組み合わせることで、場所を選ばず急速かつ省スペースに杭連続壁を構築します。

施工実績 国土交通省東北地方整備局塩釜港湾・空港整備事務所：仙台塩釜港仙台区向洋地区岸壁 (-14m) (災害復旧) 工事 ※今秋着工予定

●部署：全国圧入協会 東北事務所
●URL：http://www.atsunyu.gr.jp

●TEL：022-380-6430 ●FAX：022-380-6411
●営業時間：9:00～17:00

担当者：技術員：福丸茂樹、永野匡史

技術番号
470 | ブース番号
F-05

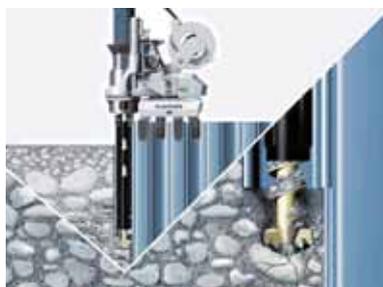
NETIS: CB-980118-V

圧入施工技術「硬質地盤クリア工法」

防災・安全等

技術番号
470 | ブース番号
F-05

JPA 全国圧入協会



玉石混りの砂礫層や岩盤層に杭を圧入

砂礫・玉石層や転石・岩盤層などの硬質な地盤に杭連続壁を構築する圧入工法です。圧入と一制御のオーガ装置で杭先端の地盤を最小限掘削し、地盤の貫入抵抗力を低減させながら杭を圧入します。既設杭を反力とするコンパクトな機体で転倒の危険性がなく、振動や騒音、排土量を抑えた環境配慮施工で、都市機能を阻害させることなく作業を行います。U形鋼矢板をはじめ、鋼管矢板やゼロ矢板、PC壁体など各種杭材にも対応しており、杭の搬送・建て込み・圧入の全作業を杭上だけで行う「ノンステージング工法」と組み合わせることで、場所を選ばず急速かつ省スペースに圧入杭連続壁を構築します。

施工実績 国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所：仙台北部道路新一本杉橋橋脚下部工工事（P2橋脚）
国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所：中川地区改良工事

●部署：全国圧入協会 東北事務所
●URL：http://www.atsunyu.gr.jp

●TEL：022-380-6430 ●FAX：022-380-6411
●営業時間：9:00～17:00

担当者：技術員：福丸茂樹、永野匡史

技術番号
156 | ブース番号
A-74
I-13

LED情報板

遠隔一斉制御システム「TICSシステム」

防災・安全等

技術番号
156 | ブース番号
A-74
I-13

株式会社 仙台銘板



1文字 400角の大型情報板を複数台遠隔地より、表示文字を変更操作するシステム

TICSは、携帯電話網（FOMA）を使用し、遠隔地から複数のLED表示板を制御可能なシステムです。遠隔地からの制御は単体及び複数のLED表示板を一括で制御することが可能で迅速な表示内容の変更を行うことが出来ます。インターネットによる制御であるため、インターネットが接続可能であればどこからでも遠隔制御を行うことが可能です。

●部署：情報企画室
●URL：http://www.s-meiban.com

●TEL：022-706-8103 ●FAX：022-388-7324
●営業時間：9:00～17:30

担当者：関川・横田

技術番号
560 | ブース番号
F-45

NETIS: KK-040047-V

プレストネット工法

防災・安全等

技術番号
560 | ブース番号
F-45

株式会社 相建エンジニアリング



初期崩壊防止型 地山補強工法 環境性能に優れ、ローコスト、生産性が向上し、工期短縮を実現

- ・法面補強工法 先行して地山にプレストレスを与え、崩壊を未然に防止する技術
- ・環境性能に優れる技術 立木を伐採することなく自由な配置が可能で、自然の保持に優れる
- ・高品質な部材 部材はすべて工場生産
- ・軽量部材による人力作業 部材重量 最大15kg程度で人力による作業が容易
- ・適用勾配 概ね1：0.3以上
- ・施工安全性 ハンガードリル工法（ロープ足場）により、法面上側からの施工（逆巻き）が可能

県道仙台山寺線法面保護工事（山形県村山建設事務所 H21.2）

●部署：株式会社 相建エンジニアリング エンジニアリング部
●URL：http://www.souken-e.co.jp

●TEL：06-6455-8711 ●FAX：06-6455-8661
●営業時間：8:30～17:30

担当者：木越 正司、銅銀 清憲

防災・安全等

技術番号
264 | プース番号
B-37

斜面崩壊検知センサー

防災・安全等

技術番号
264 | プース番号
B-37

 株式会社 拓和



センサーが転倒することで崩壊を検知し情報を無線伝送します。設置工事が容易で断線の心配がありません。

本装置は、崩壊の危険のある斜面に設置し、斜面崩壊とともにセンサー自体が傾く事で斜面の崩壊を検知するセンサーです。斜面崩壊検知センサーは、斜面に設置する検知センサーと送信された検知情報を受信して外部機器に検知情報を出力する受信制御装置で構成されています。また、付帯機器として、検知データをメモ리카ードに記録する記録装置、遠方で監視するためのデータ伝送装置（テレメータ無線、携帯電話回線網等）、電源を供給する太陽電池などから構成されます。

●部署：株式会社拓和 システム技術部
●URL：<http://www.takuwa.co.jp>

●TEL：03-3291-5874 ●FAX：03-3291-5801
●営業時間：9:00～17:20

担当者：柳町 年輝

技術番号
265 | プース番号
B-37

衛星携帯電話伝送装置

防災・安全等

技術番号
265 | プース番号
B-37

 株式会社 拓和



衛星回線を利用し災害時や山間部等の既設通信回線がない場合でも各種センサー情報の伝送が可能です。

本装置は、衛星通信回線（ワイドスター2）を利用することで、既設の通信回線や携帯電話回線網等が利用できない山間部等や大規模災害時の通信回線規制による通信が不可能な場合においても、迅速に各種センサー情報（水位、雨量、土石流検知、斜面崩壊検知等）の伝送が可能です。また、省電力設計で、商用電源が取れない場合においても、太陽電池やバッテリーでの運用が可能です。

●部署：株式会社拓和 システム技術部
●URL：<http://www.takuwa.co.jp>

●TEL：03-3291-5874 ●FAX：03-3291-5801
●営業時間：9:00～17:20

担当者：柳町 年輝

技術番号
505 | プース番号
F-20

耐液状化格子状地盤改良（TOFT工法）

防災・安全等

技術番号
505 | プース番号
F-20

(株) 竹中土木 東北支店



地盤を格子状に地盤改良し液状化を防止するTOFT工法は東日本大震災においても効果が確認され、浦安などの宅地の対策にも期待される工法

TOFT工法は地盤改良により格子状の改良壁を地中に構築し、液状化を防止する工法で阪神大震災や東日本大震災でも効果が確認されています。当社は大型機械では4軸工法を開発し施工の効率化を図り、一方では住宅地などの狭小地でも施工可能な小型のスマートコラム工法を開発し、様々な条件に対応可能な技術を揃えています。

●部署：技術・生産本部
●URL：<http://www.takenaka-doboku.co.jp/>

●TEL：03-6810-6215 ●FAX：03-6660-6304
●営業時間：8:30～17:15

担当者：小西 一生

技術番号
502 | プース番号
F-19

双方向遠隔自動監視システム「観測王」

防災・安全等

技術番号
502 | プース番号
F-19

 中央開発(株)



**大きな安全は小さな安心から
～リアルタイム情報の監視でその先の安全を～**

「観測王」は、インターネットを介して各種の計測機器から自動的に伝送されるデータを配信するとともに、現地計測機器を遠隔地から制御することができるシステム（双方向の監視・制御）です。住家に被害を及ぼす急傾斜地や地すべりの監視、道路法面や落石の監視、掘削工事等の施工安全管理などにも適用できます。当社では、監視対象にあわせた計測機器の選定、機器の配置計画の立案、現地の状況に応じた最適な通信制御方式・電源供給方法の選定など、トータルでコンサルティング致します。

施工実績 新庄河川事務所管内で複数の施工実績あり

●部署：中央開発(株) 防災モニタリング事業部
●URL：<http://www.ckcnet.co.jp/>

●TEL：03-6228-0326 ●FAX：03-3232-3625
●営業時間：9:00～17:15

担当者：山口弘志・後藤晃治・田邊裕明

技術番号
503 F-19

斜面崩壊感知センサー「感太郎」

防災・安全等

技術番号
503 F-19

中央開発(株)



その危険をいち早く感知

～斜面の変状を見逃さない「安全・安心」の実現に向けて～

単純かつ安価で測定精度も高く、さらに設置も簡単な斜面崩壊感知センサー（商品名：「感太郎」）を開発しました。センサー自体の転倒を検知するとともに傾斜角を測定するセンサーであり、計測部にMEMS傾斜計を活用することで小型化・省電力を実現しました。急傾斜地や地すべりの計測、山留め施工、落石監視などにご利用いただけます。また、双方向の遠隔監視・制御が可能な「観測王」と組み合わせることで、迅速な情報提供や警報発信などの防災活動に役立てることが可能になります。

施工実績 新庄河川事務所管内で複数の施工実績あり

● 部署：中央開発(株) 防災モニタリング事業部 ● TEL：03-6228-0326 ● FAX：03-3232-3625
● URL：http://www.ckcnet.co.jp/ ● 営業時間：9:00～17:15

担当者：山口弘志・後藤晃治・田邊裕明

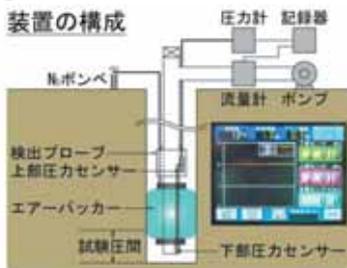
技術番号
504 F-19

低透水試験装置

防災・安全等

技術番号
504 F-19

中央開発(株)



ボーリング孔内で実施する透水試験、湧水圧測定、間隙水圧測定など多目的かつ高精度な水理試験装置

独自技術として、遮水パッカーの上下2箇所に高精度圧力センサーを配置したことにより、0.1～0.3MPaの低圧域の高精度測定、地下水位が低い場所での静水圧試験および孔壁からの漏水チェックが可能になりました。また、遮水パッカーの有効長が約2倍（当社比）になったため、試験時にはより確実な遮水ができます。これらの技術により、パッカーで区切られた深度区間の水圧を直接効率良く測定することが可能になり、従来装置に比べて各種水理試験の信頼性が飛躍的に向上しました。

● 部署：中央開発(株) 技術センター 地質部 ● TEL：03-3208-5252 ● FAX：03-3232-3625
● URL：http://www.ckcnet.co.jp/ ● 営業時間：9:00～17:15

担当者：上田正人・金澤直人・斉藤正男

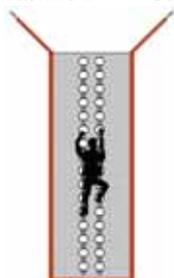
技術番号
489 F-13

MR-NET

防災・安全等

技術番号
489 F-13

株式会社 天 商



津波緊急避難・登はんネット

MR-NETは高台への避難対策（避難階段・避難タワー等）の空白域の法面に設置し最短経路の避難経路を確保します。既設法面の他に岩盤・土壁・人工構造物の岸壁・護岸・積ブロック等あらゆる傾斜面・直壁に簡単に設置できます。鋼製階段等と比較して材料費・工事費ともに格段に安価。耐久実績30年超の樹脂網を使用し海岸付近の塩害でも錆びない。構造・材質・強度は消防法の『避難器具の基準』を上回るように設定しています。

● 部署：営業部 ● TEL：011-812-0784 ● FAX：011-812-1088
● URL：http://life-long.info/ ● 営業時間：9:00～17:45

担当者：今井哲朗

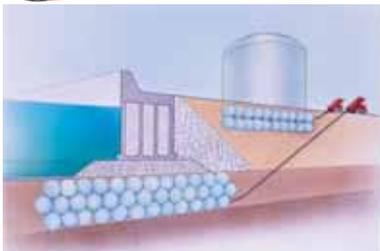
技術番号
545 F-37

バルーングラウト工法

防災・安全等

技術番号
545 F-37

東亜建設工業



バルーングラウト工法

薬液注入時の薬液逸走防止性能の優れた薬液注入工法

バルーングラウト工法は、恒久型薬液を用いた薬液注入固化工法の一つで、既往施設直下地盤の液状化対策や、供用中岸壁の裏埋め土砂の吸い出し対策に適用可能な工法です。

施工方法は、地盤内に設置した96mm程度のボーリング孔より、薬液を低圧にて注入することで地盤の強度を増大させます。既設構造物を傷めることなく、しかもその稼動を止めることなく施工を行なうことができ、工場等、比較的狭い箇所での施工が可能等の利点があります。

施工実績 仙台塩釜港仙台区中野地区岸壁（-9m）改良外工事
秋田港飯島地区岸壁（-11m）（改良）（耐震）築造工事

● 部署：東亜建設工業（株）東北支店土木部 ● TEL：022-262-6513 ● FAX：022-261-1338
● URL：http://www.toa-const.co.jp/ ● 営業時間：9:00～17:30

担当者：土木部工事課 鈴木 雅樹

技術番号
546 | プース番号
F-37

スパイラルドレーン工法

防災・安全等

技術番号
546 | プース番号
F-37



スパイラルドレーン工法

静かで確実な液状化防止工法

スパイラルドレーン工法は、液状化の可能性のある砂地盤中に、ポリエチレン製の円筒型ドレーンであるスパイラルドレーンを鉛直または斜めに打設し、地震時に発生する過剰間隙水をドレーン内に早期に流入・排水させ、過剰間隙水圧の上昇を抑制する液状化防止工法です。

施工実績 塩釜港仙台港区岸壁(-12m)(1)地盤改良工事

●部署：東亜建設工業（株）東北支店土木部
●URL：http://www.toa-const.co.jp/

●TEL：022-262-6513 ●FAX：022-261-1338
●営業時間：9:00～17:30

担当者：土木部工事課 鈴木 雅樹

技術番号
480 | プース番号
F-10

高輝度蓄光式屋外用案内標示板（アルシオール・サインプレート）

防災・安全等

技術番号
480 | プース番号
F-10

東栄コンクリート工業株式会社 アベイル事業部



夜間時の安全な避難誘導に。

アベイルス・アルシオールは世界で初めて、屋外・水回り・床での使用を可能とし、更に24時間以上の発光時間を有する驚異の蓄光素材です。極めて優れた耐久性と蓄光性能により、夜間時の避難誘導において高い有効性を発揮します。また、電力を全く使用しないため、配線・配管等の材料施工費用がかからず、維持管理においても、消費電力・点検設備・消耗品等のランニングコストを大幅に削減することが可能です。

施工実績 宮城県角田山元トンネル→高輝度蓄光式トンネル内非常電話・通報装置案内標示板。
仙台東京海上日動ビルディング→アルシオール高輝度蓄光式避難誘導板。
新日本石油精製 仙台製油所→アルシオール高輝度蓄光式避難誘導板。等

●部署：アベイル事業部
●URL：http://www.toeicon.co.jp

●TEL：023-643-1144 ●FAX：023-645-5396
●営業時間：8:00～17:00

担当者：古内 信彦

技術番号
246 | プース番号
B-28

ST集排水工法

防災・安全等

技術番号
246 | プース番号
B-28

ST集排水工法 小断面トンネル排水工法研究会

地すべりを抑制させるための大口径集排水ボーリング工



施工状況

集水状況

本技術は、地すべり抑制工（地下水排除工）に関するものであり、地すべりの誘因となる地下水が集中して多量に賦存する箇所等において、効率的に多量の地下水を排除し、地すべり活動の抑制を図る大口径集排水ボーリング工法である。大口径集排水管はφ300mm～φ800mmの鋼管を敷設することが可能。グラベルパイル工等との組み合わせで、立体的な地下水排除計画に幅広く利用できる。

施工実績 ・東北森林管理局 宮城北部森林管理署 荒砥沢Ⅲ治山工事（天然ダムの排水工）
・東北地方整備局 新庄河川工事事務所 七五三掛地区緊急対策工事（地すべり地における排水工）

●部署：小断面トンネル排水工法研究会事務局
●URL：http://st-method.com

●TEL：03-3474-3143 ●FAX：03-3474-3163
●営業時間：9:00～17:00

担当者：東邦地下工機機 関根克宏

技術番号
247 | プース番号
B-28

エアーキッド工法

防災・安全等

技術番号
247 | プース番号
B-28

東邦地下工機株式会社

鉄筋挿入工における全エアー駆動二重管式削孔工法



施工状況

- ①崩壊性地盤でも孔壁を保持することができ、補強鉄筋の定着が確実である。
- ②圧縮空気を用いた掘削・駆動方式の採用により削孔システムが簡素である。
- ③軽量小型で施工スペースが小さく（作業足場床幅2.5m）、急傾斜地下部など狭大な現場でも搬入が容易である。（機械質量230kg）
- ④削孔水を使わずに掘削できるため、斜面の不安定化を助長することなく施工できる。
- ⑤削孔時に排出されるスライム（掘り屑）を観察することにより、地盤性状の確認ができる。

施工実績 東北地方における実績
国土交通省、新潟県、山形県（鉄筋挿入工・ロックボルト工：延べ施工延長7,385m）
全国：延べ施工延長ΣL=125,328m

●部署：軽量型ボーリングマシン研究会事務局
●URL：http://www.ldm-labo.com

●TEL：092-581-3031 ●FAX：092-513-5214
●営業時間：9:00～17:00

担当者：東邦地下工機機 瀬津田 哲也

技術番号
595H-07

空輸対応型ICTバックホウ（1m規格）

防災・安全等

技術番号
595H-07

東北地方整備局 東北技術事務所

空輸対応型バックホウの大型化及びICTを活用した無人化施工の効率化を実現。



空輸対応型バックホウは、地震や降雨に伴う山間部における地滑り災害など、陸路による重機輸送が不可能な災害に対応するため、ヘリコプターによる空輸作業を迅速に行えるよう、最大分割重量の低減及び分解組立に要する時間の短縮を目的として開発されたものである。今回開発したバックホウは、これまで市場に存在した空輸対応型バックホウの最大規格（0.5m）の2倍のバケット容量（1.0m）を確保し、施工能力の大幅な改善を図ったものである。

さらに、本バックホウは、遠隔操縦機能も有しており、遠隔操縦時における作業効率の低下を抑制するため、情報化施工技術（マシンガイダンスシステム）による操作支援も可能としている。

施工実績 東北地方整備局 東北技術事務所

●部署：東北地方整備局 東北技術事務所 施工調査課
●URL：<http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/>

●TEL：022-365-7983 ●FAX：022-365-5938

担当者：施工調査係

技術番号
610I-07

SGペガ500 感知バー付きモデル

防災・安全等

技術番号
610I-07

株式会社 東北ペガサス 仙台支店

安全性の向上・作業効率のアップ



SGペガ500の手がかり棒に取付けて使用する「転落防止のための危険を予知するバー」です。「安全性の向上」作業床幅がワイドな500mm。踏み床幅もワイドな55mm。踏外し防止を天板に装備。「作業効率アップ」工具が不要のワンタッチ操作。作業者自身による組み・バラシが可能。「補修性の向上」踏み床の取替えが可能。修理代の軽減。

●部署：仙台支店
●URL：<http://www.toupega.co.jp/>

●TEL：0223-25-0233 ●FAX：0223-25-0235

●営業時間：8:00～17:45

担当者：太田・小笠原

技術番号
611I-07

アルミ合金製階段用作業台 SGエクス

防災・安全等

技術番号
611I-07

株式会社 東北ペガサス 仙台支店

階段作業の安全性と作業性を大幅にアップする
“揺れない”階段専用作業台！



作業効率を向上させる広い天板。作業時の安全を確保する後部墜落ストッパー。狭い階段幅での作業性を配慮し、下段部は潜り抜けが可能で上段及び下段主脚は伸縮できるため、幅広い階段形態に対応可能となり折り畳むことでコンパクトになります。

●部署：仙台支店
●URL：<http://www.toupega.co.jp/>

●TEL：0223-25-0233 ●FAX：0223-25-0235

●営業時間：8:00～17:45

担当者：太田・小笠原

技術番号
612I-07

感知ガード内蔵軽量作業台 SGセトー

防災・安全等

技術番号
612I-07

株式会社 東北ペガサス 仙台支店

壁際作業がスムーズに！ 感知ガード内蔵・軽量作業台！



広い天板（550mm×400mm）によって作業姿勢が安定し、壁際に近い作業が可能。作業床端部を作業者に伝える円弧状の墜落予防の内蔵式感知ガードを装備。手挟み防止の減速装置や70mmの超ワイドな踏み床幅により強度もアップし、より高い安全性を実現しました。『はしご』『脚立』に代わる新しい作業台『SGセトー』です。

●部署：仙台支店
●URL：<http://www.toupega.co.jp/>

●TEL：0223-25-0233 ●FAX：0223-25-0235

●営業時間：8:00～17:45

担当者：太田・小笠原

技術番号
382 C-39

防水層に直接貼付けが可能なヘリサインフィルム

防災・安全等

技術番号
382 C-39

**東北防水改修工事協同組合
田島ルーフィング株式会社**



防水層に直接貼付けが可能な高輝度再帰性反射ヘリサインフィルム

屋上に設置されるヘリサインは従前の多くが塗装で設置されていましたが、塗装は屋上防水層との接着性や風雨・紫外線への耐候性がそれほど高くなく、数年後毎の塗り直しが必要でした。そこで防水層に直接貼り付けが可能な防水層用ヘリサインフィルムをご紹介します。このフレクターフィルムは、デザインのアウトラインをコンピューター制御でカットするため正確なフォントデザインの再現が可能で、塗装と比べて高い耐久性と耐退色性を有しています。また、高輝度の再帰性反射機能を付加したフィルムのため、夜間でも圧倒的な視認性を有したヘリサインフィルムです。

施工実績 官公庁、民間物件問わず全国で採用実績あり

●部署：東北防水改修工事協同組合
●URL：http://www.tohoku-bousui.com

●TEL：022-261-3628 ●FAX：022-225-1567
●営業時間：9:00～17:30

担当者：高田敦史

技術番号
510 F-22

津波防災・減災支援システム

防災・安全等

技術番号
510 F-22

東洋建設



**津波挙動の解明で事業継続計画を支援
被災費用をライフサイクルコストに考慮した津波防護壁を提案します**

大規模津波による被害リスクを考慮した津波防護壁の提案で、BCP策定を支援します。津波防護壁は陸地への津波の浸入を防ぐために設置され、壁高が高いほど大きな津波を防ぐことができますが、建設費も増えます。また津波高がそれを上回ると越流が生じることで構造物はダメージを受け、背後地にも甚大な被害が生じます。東洋建設では津波の発生から伝播、陸上への遡上や構造物に作用する力を算定する数値解析技術に加え、津波の挙動や構造物との相互干渉を定量化するために開発された各種模型実験技術を駆使し、今まで想像できなかった津波の挙動を明らかにします。さらに被害リスクを費用換算しLCCに組み込むことで合理的な津波防護壁をご提案致します。

●部署：東北支店 工事部
●URL：http://www.toyo-const.co.jp/

●TEL：022-222-2262 ●FAX：022-265-1029
●営業時間：8:30～17:30

担当者：小倉勝利

技術番号
537 F-33

トグル制震構法 (増幅機構付油圧制震ブレース)

防災・安全等

技術番号
537 F-33

飛鳥建設株式会社



トグル制震構法：建物の揺れを低減する優れた耐震補強工法です。

●トグル制震構法：地震時の建物変形に対して、増幅機構を有した油圧ダンパーが高効率で地震エネルギーを吸収し揺れを低減。断続的に起こる余震でも同様な効果を発揮します。また、制震装置の配置に自由度が高く、設置箇所数を低減でき、短工期・ローコストを実現。震度6弱の仙台市役所でも効果を実証出来ました。

施工実績 弘前大学(文京町)総合研究棟耐震改修、岩手県国保会館耐震改修、岩手大学工学部3号館耐震改修、秋田県庁舎耐震改修、秋田福川中学校耐震改修、秋田森林管理局庁舎耐震改修、仙台市庁舎耐震改修、仙台市宮小松島住宅、東北大学(川内1)総合研究棟耐震改修、山形大学(医病)病棟耐震改修、南相馬市庁舎耐震改修、他

●部署：飛鳥建設(株)東北支店 建築部営業G
●URL：http://www.tobishima.co.jp

●TEL：022-275-9954 ●FAX：022-274-5374
●営業時間：8:30～17:30

担当者：トグル制震構法：木村 龍司

技術番号
436 E-01
I-29

Webカメラ

防災・安全等

技術番号
436 E-01
I-29

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社



気象、防犯、道路の利用状況把握に、お手持ちのパソコンのインターネットで簡単に状況把握できます。

気象、防犯、道路の利用状況把握に効果的です。旋回・ズーム機能の屋外用Webカメラを利用して、お手持ちのパソコンのインターネットで簡単に状況把握できます。商用電源100Vの配線のみで、面倒な通信線の引き込みが不要です。寒冷地でも使用できるようファン・ヒーターも装備できます。

●部署：経営企画部 技術営業課
●URL：http://www.c-nexco-het.jp

●TEL：03-5339-1717 ●FAX：03-5339-1739
●営業時間：9:00～17:25

担当者：小林 浩

防災・安全等

技術番号
531 | ブース番号
F-31

電子看板を活用した緊急情報配信（デジタルサイネージ）

防災・安全等

技術番号
531 | ブース番号
F-31

西日本高速道路ファシリティーズ株式会社

休憩施設をご利用のお客様へ色々な情報のご提供



遠隔操作により各種コンテンツを、様々なディスプレイに対して効果的に表示する、ネットワーク配信型のデジタルサイネージです。ディスプレイにテロップ・写真・映像を流す事で伝えたい情報を配信します。なお、緊急災害時には「誰でも敏速に且つ簡単」に緊急テロップを提供することが可能なため、お客様へのサービス向上に役立ちます。緊急時テロップは、配信している映像に関係なく最優先情報として表示されます。緊急時テロップを最前面に表示することで、お客様に分かり易く表現することが可能です。

●部署：事業開発部 営業課

●TEL：072-645-7096

●FAX：072-645-7085

担当者：串田 晴弘

●URL：http://www.w-nexco-fct.co.jp

●営業時間：9:00～17:30

技術番号
532 | ブース番号
F-31

出火防止コンセント

防災・安全等

技術番号
532 | ブース番号
F-31

西日本高速道路ファシリティーズ株式会社

地震火災・配線火災を未然に防ぐ



大規模地震対策では、建物の耐震性の確保は勿論ですが、重要なのは火災対策です。阪神淡路大震災では、各所で発生した火災が被害を拡大しました。その出火原因の6割が、地震による停電が解除され再送電された時に電気器具から発火する通電火災でした。出火防止コンセントは、大地震時の電気火災や日常の電気火災防止を目的に、地震感知センサーと温度センサーを内蔵し、震度5以上の地震を感知し、電源を即座に遮断し電気器具の破損、転倒による火災を未然に防止するコンセントです。また、再送電時の通電火災やほこり等のトラッキング火災を防止し、落雷時の誘導雷からパソコン機器等を保護し地震、配線火災を24時間監視します。

●部署：事業開発部 営業課

●TEL：072-645-7096

●FAX：072-645-7085

担当者：串田 晴弘

●URL：http://www.w-nexco-fct.co.jp

●営業時間：9:00～17:30

技術番号
533 | ブース番号
F-31

高輝度蓄光式誘導サイン

防災・安全等

技術番号
533 | ブース番号
F-31

西日本高速道路ファシリティーズ株式会社

暗闇の中で発光する誘導サイン



突然停電が起きた場合には非常口へ向かうことが困難になります。高輝度蓄光式誘導サインが設置してあれば安全、迅速に避難することが可能です。高輝度蓄光式誘導サインは、太陽光や蛍光灯の光（紫外線）を蓄積し、暗闇で長時間・高輝度で発光します。また電源を必要とせず、ランニングコストが一切かからないため、省エネ対策にも最適です。ブルーグリーン発光は、人間の心を落ち着かせる効果があり、耐水性・耐候性に優れているため、屋内は勿論のこと、屋外での使用にも適しています。

●部署：事業開発部 営業課

●TEL：072-645-7096

●FAX：072-645-7085

担当者：串田 晴弘

●URL：http://www.w-nexco-fct.co.jp

●営業時間：9:00～17:30

技術番号
389 | ブース番号
C-42

よく見えシート

防災・安全等

技術番号
389 | ブース番号
C-42

NETIS：QS-110019-A
西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社

運転席から後方の視界が確保できる工事用車両表示幕です。



一見して工事等の関係車両であると認識できると同時に、後方の安全確認が可能となり事故防止や第三者被害防止に大きく寄与できます。また工事関係者の安全意識を向上させるものです。
・全面の小さな穴と裏面を黒くしたことにより車内から車外を透過できる工事用車両表示幕です。
・車内よりリアガラスに吸盤で取り付けられます。
・工事関係者の安全意識向上も目的として開発したものです。

施工実績 国土交通省東北地方整備局

●部署：事業開発部 事業開発課

●TEL：092-771-1414

●FAX：092-771-6882

担当者：宮崎広喜、和泉 敏郎、肥後 雅一

●URL：http://www.w-e-kyushu.co.jp/

●営業時間：8:45～17:25

技術番号
462 ブース番号
F-02

統合型地盤監視ネットワークシステム

防災・安全等

技術番号
462 ブース番号
F-02

 西日本高速道路エンジニアリング中国 株式会社

効果的効率的な計測監視技術



地滑り、斜面崩壊、地盤沈下、土石流検知や構造物の変位等を遠隔監視するシステムです。WEBでデータの閲覧が可能ですのでインターネット環境が整っていればどこでもその挙動が監視出来ます。現場状況に応じた通信回線網の選択が可能であり、災害時に強い無線通信インフラも完備。機器類はヘルスチェック機能を有しているため、データ欠損が予防されるとともに、各々のセンサーデータに対し、管理基準値を設定すれば、お客様に警報メール・音声での通報が可能となります。

●部署：営業本部 営業部 技術営業課
●URL：http://www.w-e-chugoku.co.jp/

●TEL：082-532-1436 ●FAX：082-532-8054
●営業時間：9:00～17:30

担当者：技術営業課 本徳 弘行

技術番号
015 ブース番号
A-07

ループフェンス工法

防災・安全等

技術番号
015 ブース番号
A-07

 日成産業株式会社
日本ゼニスパイプ株式会社

高エネルギー吸収落石防護柵

擁壁上や地盤に直接ボーリングにより建込可能な落石防護柵で、対応可能な落石のエネルギーは1000KJとトップクラスです。
・ワイヤロープがループ状に巻きつけられているため、他のエネルギー吸収型防護柵に比べ、落石捕捉時の張出量が小さく、道路際の設置も可能です。
・性能は、重錘の自由落下による実物実験により確認済みで、実験は欧州基準に基づいています。
・土砂崩壊による荷重や、積雪による荷重にも対応可能です。

施工実績 「中野地区防災工事」(福島河川国道事務所) 他
「七ヶ宿ダム下流法面工事」(七ヶ宿ダム管理事務所)

●部署：日本ゼニスパイプ株式会社 防災本部
●URL：http://www.zenith.co.jp

●TEL：03-3865-2616 ●FAX：03-3865-2630

担当者：八木孝之

技術番号
016 ブース番号
A-07

MJネット工法

防災・安全等

技術番号
016 ブース番号
A-07

 日成産業株式会社
日本ゼニスパイプ株式会社

高エネルギー吸収落石防護柵

軍事目的として湾内に侵入する潜水艦を捕獲する目的で利用されたといわれるワイヤリングネットと、効率的にエネルギーを吸収するブレーキシシステムを組み合わせた高エネルギー吸収落石防護柵です。タイプ別に150KJ～3000KJの落石エネルギーまで対応できます。
・比較的軽量の部材で構成され斜面上の設置が容易。
・スリムな外観は自然に調和し景観にやさしい。
・設計エネルギーに対する経済性はトップクラスです。

施工実績 「七ヶ宿ダム道路災害防除工事」(七ヶ宿ダム管理事務所) 他
「国道341号 地方道路交付金工事(災害防除)」(鹿角地方振興局)

●部署：日本ゼニスパイプ株式会社 防災本部
●URL：http://www.zenith.co.jp

●TEL：03-3865-2616 ●FAX：03-3865-2630

担当者：八木孝之

技術番号
607 ブース番号
I-06

法面2号ユニバーサルユニット自在階段

防災・安全等

技術番号
607 ブース番号
I-06

 日綜産業株式会社

仮設機材で初の推奨技術に選定！
軽くて設置簡単なアルミ製ユニット階段。現場に安全と安心を提供します。



本技術は取付角度が自在に設定できるユニット式アルミ合金製階段です。従来は単管パイプにクランプ付きステップを一枚一枚取り付けて設置していましたが、本技術の活用により多様な傾斜角度でも常にステップは水平になり、昇降時の安全が確保されます。また、階段全体(手摺は着脱式)がユニットの為、従来の設置工数を大幅に削減できます。素材はアルミ合金製で軽量の為、足元の悪い斜面でも運搬・設置が容易に出来ます。本技術はNETIS平成24年度「推奨技術」【新技術活用システム検討会議(国土交通省)】に選定されました。

施工実績 阿武隈川下流沼尻地区堤防災害復旧工事、北上川上流大堰排水樋門 新設工事
胆沢ダム尻前地区法面対策、栗駒山系市野々原地区砂防堰堤工事 ほか多数採用。

●部署：日綜産業株式会社 仙台支店
●URL：http://www.nisso-sangyo.co.jp

●TEL：022-268-6286 ●FAX：022-204-8770
●営業時間：8:50～17:30

担当者：加藤・木村・中島

技術番号
608

ブース番号
I-06

NETIS : CB-100024-A

セフトパラペッター

防災・安全等

技術番号
608

ブース番号
I-06

日綜産業株式会社



手すり先行工法の新型安全装備、「アルミ製幅木付き先行手すり枠」
現場からの声を重視した **先行手すり・二段手すり・つま先板・交差筋**
かいの全ての機能を備えた機材です。

本技術は枠組足場使用時の安全を確保する為の手すり先行工法で、従来は一般的な先行手すりとは後付け幅木で対応していました。本技術の活用により一体型L型幅木や安全帯通過器具（パスポーター）が装備され、足場の組立・解体および作業時の人の墜落、物の飛来落下を防止する事が期待出来ます。1.8メートルタイプで重量は10kgと、業界最軽量。社団法人仮設工業会の認定品です。

施工実績 仙台第4 地方合同庁舎建築その他復旧工事、福島裁判所建築その他工事、
H22年度 高松地区橋梁補修工事、東北自動車道仙台管内橋梁災害復旧工事

●部署：日綜産業株式会社 営業本部
●URL：http://www.nisso-sangyo.co.jp

●TEL：03-6891-3246 ●FAX：03-6891-3248
●営業時間：08:50～17:30

担当者：柳井・福岡・大久保

技術番号
609

ブース番号
I-06

NETIS : KT-060089-V

法面8号 機械構台システム足場

防災・安全等

技術番号
609

ブース番号
I-06

日綜産業株式会社



法面工事の安全作業・省力化に効果を発揮する少実績優良技術！
ハンマー1本で組立・解体可能。システム式なので構台の盛替え
が楽に出来ます。

本技術はアンカー工事やボーリング工事での削孔機などを設置する機械構台や、乗り入れ構台用として使用する足場です。本製品は当社が開発しましたクサビ式足場支保工のニッソー3Sシステムの利点を活用し、今まで単管+クランプで手間と時間をかけて製作していた構台足場を、より簡単に安全に施工できるようにしたものです。また、法面は様々な材質（コンクリート・土質など）ですので、現場によって強度計算や図面が変わってきますが、当製品は接地部に①打ち込みタイプ②角度自在タイプ③フラットタイプを用意し、それらにも柔軟に対応しております。

施工実績 長井ダム建設工事、宮城県成田地区法面復旧その1工事、
仙台川河川災害復旧工事、四時川第一水圧鉄管固定台他復旧工事

●部署：日綜産業株式会社 仙台支店
●URL：http://www.nisso-sangyo.co.jp

●TEL：022-268-6286 ●FAX：022-204-8770
●営業時間：08:50～17:30

担当者：加藤・木村・中島

技術番号
127

ブース番号
A-60

ノンフレーム工法

防災・安全等

技術番号
127

ブース番号
A-60

NSMP 日鐵住金建材株式会社 東北支店



【国土交通大臣賞・経済産業大臣賞 大臣賞W受賞工法】
斜面の樹木を伐採せずに施工できる、画期的な斜面防災工法

地中の安定な地盤まで打ち込まれた鋼棒（ロックボルト）と、地表面の支柱板で崩れやすい土を押さええます。さらに支柱板同士をワイヤロープで連結してネットワーク構造を構築し、げけ崩れを防ぐ工法です。

【特長】
①施工後も元々の環境・景観を保全 ②工期短縮・コスト削減
③優れた適用性（狹隘、高所といった条件でも適用可能です）

施工実績 翁沢地区防災工事(郡山国道事務所) 浅布治山工事(宮城北部森林管理署)
東北自動車道福島管内道路保全工事(東日本高速道路(株))
他 全国で110万㎡、1000件を超える施工実績あり

●部署：日鐵住金建材(株) 東北支店 土木営業室
●URL：http://www.ns-kenzai.co.jp

●TEL：022-221-4573 ●FAX：022-265-6553
●営業時間：09:00～17:30

担当者：水原 崇之 / 岩淵 佳史 / 我妻 孝行

技術番号
109

ブース番号
A-54

高強度折板 ニスクルーフ L145

防災・安全等

技術番号
109

ブース番号
A-54

NISC 日鐵住金鋼板(株)



二段嵌合方式による高強度と吊子レスによる優れた施工性を実現した
シャープで美しい屋根材。

長年実績のある安心の『ハゼ締め方式』と高い耐風圧強度を持つ『二段嵌合方式』との融合により最終進化型の折板が誕生しました。独自の『二段嵌合方式』により折板にかかる風荷重をタイトフレームの上下の嵌合爪で分担し、これまでにない高い耐風圧強度を発揮します。高い耐風圧強度を持つため、母屋間隔を拡げることが可能であり、タイトフレーム及び鉄骨の使用量を減らすことができ、また吊子不要による施工能率のアップによりトータルコストの削減が可能です。二段嵌合方式が作り出す斬新な稲妻ラインが、ダイナミックで美しい屋根外観を演出します。

施工実績 全国の工場、倉庫の屋根

●部署：日鐵住金鋼板(株) 東北支店
●URL：http://www.nisc-s.co.jp/

●TEL：022-264-9861 ●FAX：022-264-9866
●営業時間：9:00～17:30

担当者：三船・中原

技術番号
110 A-54

耐震+節電=NISCパネル

防災・安全等

技術番号
110 A-54

NISC 日鉄住金鋼板(株)



NISCパネルの優れた耐震性 他の追随を許さない断熱性能で節電

- 耐震
- ・独自の構造により高い耐震性を発揮
 - ・試験でも証明される耐震性と防耐火性能
 - ・震度6強の地震にも耐えるNISCパネル
 - ・補修も早いNISCパネル
- 断熱
- ・優れた断熱性能で空調使用電力を削減
 - ・ソーラーパネルの設置でさらなる節電効果

施工実績 全国の工場、倉庫、事務所、店舗、住宅等の屋根及び外壁

●部署：日鉄住金鋼板(株) 東北支店
●URL：http://www.nisc-s.co.jp

●TEL：022-264-9861 ●FAX：022-264-9866
●営業時間：9:00～17:30

担当者：津田・千葉

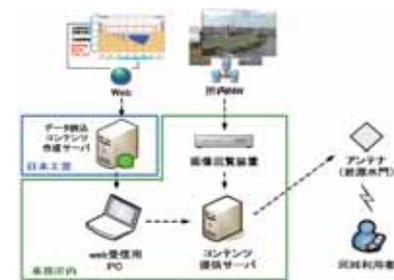
技術番号
471 F-06

防災情報等配信エリアワンセグ放送システム

防災・安全等

技術番号
471 F-06

NIPPON KOEI 日本工営グループ



エリアワンセグを活用した防災情報等提供システムの試行

エリアワンセグとは、携帯端末向けの地上デジタル放送のしくみ「ワンセグ」技術を使い、テレビ局の放送とは別に狭いエリア限定（およそ1～2km範囲）に独自の情報を配信するシステムです。今回は、この技術の特徴を活かした防災情報等の提供の仕組みやメリット、今後の活用方法についてご紹介させていただきます。エリアワンセグの特徴は以下の通りです。

1. 地震や洪水時等の緊急時に、地域密着の防災情報を提供する手段の確立（停電時の利用等）
2. 平常時（地域の生活情報）と異常気象時（防災情報）の組合せによるメディアの価値向上
3. 既存手段（電子メール、web）とのメディアミックスによる効果的な情報提供が実現可能

●部署：日本工営株式会社 技術部 統合情報グループ
●URL：http://www.n-koei.co.jp/

●TEL：03-3238-8214 ●FAX：03-3262-4451
●営業時間：9:00～17:30

担当者：秋山成央、遠藤和志、宮崎文生

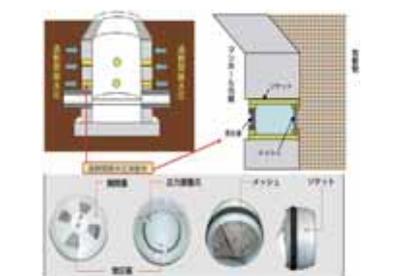
技術番号
472 F-06

フロートレス工法

防災・安全等

技術番号
472 F-06

NIPPON KOEI 日本工営グループ



地震時におけるマンホールの浮上抑制工法—非開削で行う地震対策

東日本大震災、新潟県中越地震では地震時の液状化現象により、多数のマンホールが浮上しました。マンホールの浮上は、下水道の寸断を招くとともに、交通の障害となり緊急車両などの通行を阻害し、被災者の救援活動にも影響を与えることとなります。本技術は、既設のマンホールを対象とし、非開削で地震時のマンホール浮上を抑制するものであり、東京都下水道サービス(株)、日本ヒューム(株)及び当社（中央研究所総合技術開発部にて遠心力載荷模型実験及び理論構築を実施）で共同開発し、実用化が図られています。本工法は全国で10000個以上の既設マンホールに採用されています。

施工実績 宮城県

●部署：日本工営株式会社 仙台支店 上下水道グループ
●URL：http://www.n-koei.co.jp

●TEL：022-706-2636 ●FAX：022-268-7661
●営業時間：9:00～17:30

担当者：本多学、石渡泰、小澤段、兒玉智久

技術番号
550 F-40

落石防護柵 (ゼロハチフェンス)

防災・安全等

技術番号
550 F-40

日本サミコン株式会社



新開発の落石エネルギー緩衝装置付き落石防護柵です。300kJまでの落石エネルギーに対応します。

ゼロハチフェンスは斜面からの落石を道路際で捕捉する落石防護柵です。鋼管リング方式の新開発落石エネルギー緩衝装置を装着し衝撃分散プレートを密に配置したことにより、300kJまでの落石をワイヤロープと金網で構成された面で捕捉します。支柱には鋼管を採用し支柱間隔10mで地盤根入れ方式により固定します。その他の主な特徴として、次の2点があります。

- ①支柱間受撃の場合は支柱の変位はほとんどありません。
- ②捕捉面と地盤との間隙から落石がこぼれ落ちるのを防止する変位制限ワイヤを装着しています。

●部署：日本サミコン株式会社 技術部
●URL：http://www.nihon-samicon.co.jp/

●TEL：025-286-4443 ●FAX：025-286-6638
●営業時間：9:00～17:30

担当者：佐藤 彰・中村 佐智夫

防災・安全等

技術番号
499 | プース番号
F-18

NETIS : HR-110018-A

フラッシュウインド

防災・安全等

技術番号
499 | プース番号
F-18

📍 靛回本パーツセンター



風力発電を利用した自発光式視線誘導灯

【車両の安全走行確保】

風（吹雪）の強さにより視線誘導灯の明るさが変化するため、危険度を視覚的にお知らせ。

【高性能】

風車と発電機と制御回路の最適化により、低風速時でも効率良く発電。

【コストパフォーマンス】

風車1台で、視線誘導灯を10灯点灯可能。

施工実績 東北自動車道：鹿角八幡平IC付近（上下）、磐越自動車道：磐梯山SA付近（上下）、秋田県にかほ市大森水岡線、秋田県にかほ市長岡冬師城内線、他

●部署：設計部
●URL：http://www.n-parts.jp

●TEL：076-238-6111 ●FAX：076-238-4453
●営業時間：8:15～17:15

担当者：古路 裕子、中口 彰人

技術番号
500 | プース番号
F-18

風力式横風注意板

防災・安全等

技術番号
500 | プース番号
F-18

📍 靛回本パーツセンター



風力発電を利用した風速注意喚起板

【車両の安全走行確保】

強風時、その風を利用して確実に文字を点灯。

【高い視認性能】

文字サイズを336mm×336mmとし、字体を丸ゴシック体と滑らかな文字にした事で、遠方からでも十分な視認性を発揮。

施工実績 山形自動車道：酒田みなとIC付近

●部署：設計部
●URL：http://www.n-parts.jp

●TEL：076-238-6111 ●FAX：076-238-4453
●営業時間：8:15～17:15

担当者：古路 裕子、中口 彰人

技術番号
501 | プース番号
F-18

スーパー高性能防雪柵

防災・安全等

技術番号
501 | プース番号
F-18

📍 靛回本パーツセンター



従来型防雪柵より効果範囲が飛躍的に向上した新型防雪柵

【車両の安全走行確保】

柵の上部を風下側に湾曲させ偏向板を設ける事で、風雪をより遠方へ吹き飛ばす事が可能とし、従来型防雪柵より柵の風下側の減風範囲が広がる。さらに従来型防雪柵では困難であった斜風にも対応できるため、広範囲の風向に対して十分な防雪効果が発揮できる。

【コストパフォーマンス】

防雪効果が高く、従来より柵高を低く出来るためコストダウンが可能。

施工実績 福島県猪苗代地区一般道

●部署：設計部
●URL：http://www.n-parts.jp

●TEL：076-238-6111 ●FAX：076-238-4453
●営業時間：8:15～17:15

担当者：古路 裕子、中口 彰人

技術番号
379 | プース番号
C-38

無線センサネットワーク

防災・安全等

技術番号
379 | プース番号
C-38

JRC 日本無線株式会社 株式会社



複数のセンサノードが自律的に無線ネットワークを形成し、データを収集する技術。

今回開発した無線センサネットワークでは、分散配置されたセンサノード同士が無線で自律的にネットワークを形成するため、マルチホップ伝送での、より広範囲できめ細かい情報収集を行うことができます。電源設備や通信設備のない場所でも安価に情報収集システムが構築できるため、斜面監視システムや河川水位監視システムなどの安全ソリューションをご提供できます。

●部署：東北支社 ソリューション営業課
●URL：http://www.jrc.co.jp/

●TEL：022-781-6172 ●FAX：022-299-6261
●営業時間：8:30～17:15

担当者：鈴木（工）、島田、湯浅、小田

技術番号
380 | プース番号
C-38

市町村防災行政無線用防災情報端末、及び文字表示・ワンセグTV受信機能付き戸別受信機

防災・安全等

技術番号
380 | プース番号
C-38

JRC 日本無線株式会社 東北支社

市町村防災行政無線用防災情報端末、文字表示・ワンセグTV受信機能付き戸別受信機の紹介。



情報伝達のマルチメディア化が進んでおり、市町村防災無線においても住民への情報伝達方法の多角化を実現しました。これは、最新の音声合成技術、信号処理技術およびネットワーク技術を駆使し、マルチに迅速に情報伝達を行うことが可能です。また、近年増加している大規模の災害時の情報収集するために地上波テレビ放送からの災害情報の取得も可能としました。

●部署：東北支社 ソリューション営業課 ●TEL：022-781-6172 ●FAX：022-299-6261
●URL：http://www.jrc.co.jp/ ●営業時間：8:30～17:15

担当者：鈴木（工）、瀧口、恩田

技術番号
422 | プース番号
D-04

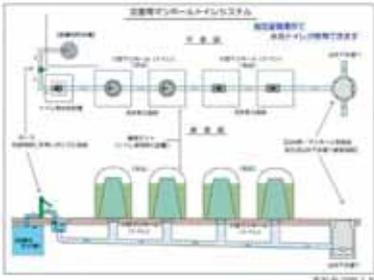
水洗化マンホールトイレシステム

防災・安全等

技術番号
422 | プース番号
D-04

パシフィックコンサルタンツ株式会社

災害時でも衛生的で使いやすい水洗化マンホールトイレシステム



当マンホールトイレシステムは、下水道の流下機能を利用した水洗化構造により、災害時に水道や電気の供給が停止した場合でも水洗化トイレとしての使用が可能です。また、トイレ使用方法もシンプルで、被災者（トイレ使用者）自らで実践できます。なお、当マンホールトイレシステムは、東日本大震災時に実際に使用され、水洗化構造・システムの妥当性が確認されたとともに、避難住民の方に機能性を評価いただきました。（「国土交通省 下水道・地震・津波対策検討委員会」においても紹介されました。）

施工実績 宮城県東松島市

●部署：パシフィックコンサルタンツ株式会社東北支社国土保全事業部 ●TEL：022-302-3975 ●FAX：022-217-1279
●URL：http://www.pacific.co.jp ●営業時間：9:00～17:00

担当者：小野、豊増、中嶋

技術番号
525 | プース番号
F-28

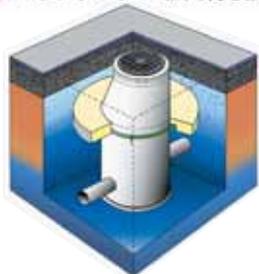
マンホール浮上抑制『ハットリング工法』

防災・安全等

技術番号
525 | プース番号
F-28

HR ハットリング工法研究会

地震時のマンホール浮上抑制工法『ハットリング工法』は、3.11東日本大震災でも効果が実証されました。



ハットリング工法 イメージ図

ハットリング工法は、地震時にマンホール周囲の埋戻し土（砂）が液状化することでマンホールに働く浮力に対して、マンホール周囲に設置した浮上抑制ブロックとその上載砕石荷重を対抗させることで、マンホールの浮上を抑制する重量工法の一つです。常時、上載荷重はマンホールにかからず、マンホールに浮力が発生した瞬間に重量がかかります。単純な理論で、簡単で早い施工、安価で経済的かつ確実な効果が得られる工法です。今回の震災前にも多くの施工実績があり、この調査結果を国総研の指導協力の下に上梓して、広く官公庁、自治体、民間研究団体で重要資料として活用されています。

施工実績 平成19～23年度全国実績累計 1,529基のうち、東北地方実績 485基。主な採用自治体等は、宮城県：東部下水道事務所、中南部下水道事務所、東松島市、七ヶ浜町、福島県：東北農政局限戸川農業水利事務所、喜多方市、いわき市、西郷村、秋田県：秋田市などです。

●部署：ハットリング工法研究会 事務局 ●TEL：03-3844-5074 ●FAX：03-3844-5087
●URL：http://www.hat-ring.info ●営業時間：9:00～18:00

担当者：技術委員長：飯田陽朗、製品委員長：松村武文
広報委員長：薄井光男、事務局 長：田中哲郎

技術番号
483 | プース番号
F-11

全素線を亜鉛メッキ被服(一次防錆)とエポキシ樹脂被膜(二次防錆)した二重防錆PC鋼より線「Ducst」

防災・安全等

技術番号
483 | プース番号
F-11

KTB PCフレーム協会/KTB協会

全素線を亜鉛メッキ被服(一次防錆)とエポキシ樹脂被膜(二次防錆)した二重防錆PC鋼より線。



「Ducst」はPC鋼より線の全素線を亜鉛メッキとエポキシ樹脂被膜にて防錆した世界初の全素線二重防錆PC鋼より線。亜鉛メッキの犠牲防食効果とエポキシ樹脂被膜の腐食安定性の両者を組み合わせ、優れた耐久性を発揮・機械的性質はJIS-G3535に規定された規格を満足し各種基準に従った設計を行う事が可能。

施工実績 (H.18.～H.24.) 全国 288.0 t 内東北六県 (H.18.～H. 24.7) 18.0 t

●部署：株式会社ケーティービー 仙台営業所 ●TEL：022-262-8522 ●FAX：022-262-8446
●URL：http://www.ktb-kyoukai.jp ●営業時間：9:00～17:00

担当者：村井雅彦

防災・安全等

技術番号
493 | ブース番号
F-15

NETIS : HR-010010-A

ハイパワースノーフェンス工法(H S F工法)

防災・安全等

技術番号
493 | ブース番号
F-15

HSP 株式会社光創建プログレス



落石エネルギーE=250kJ程度、最大積雪深5m程度まで
対応可能な雪崩・落石兼用柵

ハイパワースノーフェンス工法 (HSF工法) は、雪崩予防・せり出し防止および落石防護を目的として開発した小規模落石対応の高エネルギー吸収型雪崩予防兼用落石防護柵であり、支柱・支柱キャップ・連結装置・サポート・定着金具・ストッパー・ツリーロープ等の専用部材とワイヤーロープ・金網等の一般的な汎用品をバランス良く組み合わせることによって、より大きな落石を捕捉するとともに、冬期の積雪による雪崩予防やせり出し防止を兼用できるシステムとなっており、経済性やメンテナンスに対しても十分に配慮された工法である。

積雪地域においては、雪崩予防柵やせり出し防止柵としての単独使用も可能となっている。

施工実績 [藤地区防災工事] (国土交通省 東北地方整備局 郡山国道事務所 発注)
[寒河江管内橋梁補修工事] (国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 発注)
[長井ダム道路付属物等施設整備工事] (国土交通省 東北地方整備局 長井ダム工事事務所 発注) 他

●部署: 株式会社 光創建プログレス ●TEL: 025-211-4331 ●FAX: 025-233-3121
●URL: <http://www.hikarisoken-progress.com/> ●営業時間: 8:30~17:30

担当者: 中村・村山・五十嵐

技術番号
494 | ブース番号
F-15

NETIS : QS-090008-A

ビーズリンガーネット工法

防災・安全等

技術番号
494 | ブース番号
F-15

HSP 株式会社光創建プログレス



落石エネルギー吸収装置を設置した最大1,200kJまでの落石エネルギーに対応可能な、高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網。

ビーズリンガーネット工法は、最大1200kJレベルの落石エネルギーに対応した高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網であり、横ロープ及び吊ロープに緩衝機構となるビーズリング (緩衝リング)、KT装置 (緩衝装置) を設置し、また滑車構造で連続された吊ロープとのトリプル緩衝機能により、ワイヤーロープとアンカーへの負担を軽減可能な工法である。

支柱間隔は従来工法の3~4倍となる9~12mを標準としており、落石の直撃確率が軽減されると共に支柱高さを変化させることで、地形の凹凸に対応した施工が可能である。

主要部材には汎用品を使用しているため、迅速なメンテナンスも可能な工法である。

●部署: 株式会社 光創建プログレス ●TEL: 025-211-4331 ●FAX: 025-233-3121
●URL: <http://www.hikarisoken-progress.com/> ●営業時間: 8:30~17:30

担当者: 中村・村山・五十嵐

技術番号
465 | ブース番号
F-04

災害に強い監視システム

防災・安全等

技術番号
465 | ブース番号
F-04

日立国際電気 株式会社 日立国際電気



住民の安全・安心に貢献する、高所カメラによる
防災情報無線伝送ソリューション

超高感度カメラは、通常カメラの約1,000倍の高感度を実現し、夜間でも昼間のような明るさで撮影することが可能です。その技術を高所カメラへ適用、映像を防災情報として活用。平常時には地域住民の暮らしに役立つ行政情報を伝達する防災無線により、災害時には的確な情報発信と映像による防災情報によって市町村で暮らす住民の安全と安心を提供します。また、高速無線リピータを用いることで、遠隔での安全な監視を実現します。

施工実績 東北地区自治体

●部署: 東北支社 放送・映像グループ ●TEL: 022-723-1802 ●FAX: 022-723-1811
●URL: <http://www.hitachi-kokusai.co.jp/index.html> ●営業時間: 9:00~17:30

担当者: 熊谷・石川

技術番号
466 | ブース番号
F-04

マルチメディア放送

防災・安全等

技術番号
466 | ブース番号
F-04

日立国際電気 株式会社 日立国際電気



V-Low/エリアワンセグなど新たな放送方式による防災・減災のための
コミュニケーションソリューション

日立国際電気では、防災・減災のコミュニケーションソリューションとして、V-Low: マルチメディア放送サービスの実験電波に対し、kW級送信機を準備。今後、実験を通じ既存防災システムとV-Lowを融合した新しい防災インフラをご提案します。また、地デジの空き周波数を活用し、地域に特化した放送を実現するエリアワンセグによって、今だけ・ここのだけ・あなただけの地域に根付いた放送として防災情報などへ活用いただけます。

●部署: 東北支社 放送・映像グループ ●TEL: 022-723-1802 ●FAX: 022-723-1811
●URL: <http://www.hitachi-kokusai.co.jp/index.html> ●営業時間: 09:00~17:30

担当者: 熊谷・石川

技術番号
467 ブース番号
F-04

臨時災害放送局用コミュニティFM

防災・安全等

技術番号
467 ブース番号
F-04

株式会社 日立国際電気
(製造元:株式会社 八木アンテナ)

災害復興時に市町村役場などが最新情報の発信基地となる臨時災害放送局コミュニティFM。



市販のFMラジオで受信可能【手回し充電ラジオ/カーラジオ】なコミュニティFMは、平常時は地域コミュニティの活性化にお役立ち、災害復興時には市町村役場などが情報発信基地となり、「安否情報」「給水や電気」「ガス」などの生活情報をFMラジオで放送します。

施工実績 東北地方 某自治体様

●部署: 東北支社 放送・映像グループ ●TEL: 022-723-1802 ●FAX: 022-723-1811
●URL: <http://www.yagi-antenna.co.jp/> ●営業時間: 9:00~17:30

担当者: 熊谷・石川

技術番号
629 ブース番号
I-19

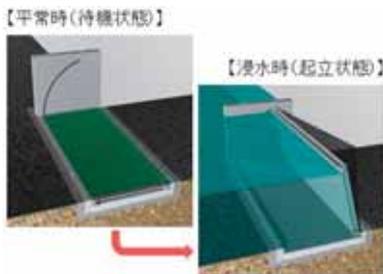
neo RiSe (ネオライズ)

防災・安全等

技術番号
629 ブース番号
I-19

Hitz日立造船株式会社

無動力かつ人為操作を必要とせず、浮力で自然起立する防潮堤寿命化工法。



陸上設置型フラップゲート式防潮堤(名称:neo RiSe)は「no energy, no operation, rising seawall」の略で、無動力かつ人為操作なしに開口部閉塞を可能とすることを最大の特長とする新しいタイプの津波・高潮防災設備です。

高潮の発生は事前予測可能なため、開口部閉塞のためのゲート操作に時間的余裕がありますが、津波防災のためには突発的に発生する地震による津波に対応し、極めて短時間のうちにゲート操作を完了させる必要があります、neo RiSeはその課題を克服しております。

●部署: 機械・インフラ本部 社会インフラ事業部 産業機械ビジネスユニット フラップゲートプロジェクトチーム ●TEL: 072-243-6829
●URL: <http://www.hitachizosen.co.jp/> ●営業時間: 8:30~17:30 ●FAX: 072-243-6794

担当者: 仲保京一、森井俊明、吉識電太

技術番号
474 ブース番号
F-07

フラップゲート式可動防波堤

防災・安全等

技術番号
474 ブース番号
F-07

Hitz日立造船株式会社

津波・高潮来襲時、自然の力を活用することで、無動力かつ素早く航路を閉鎖する可動式の防波堤



海底に沈設した函体上に一列に配置した扉体を利用した浮力を利用して旋回起立させることで、連続した防波堤を形成する可動式の構造物です。最大の特長は、自然に逆らわずその力、即ち津波や高潮の力を最大限に利用することで、高い信頼性と建設ならびに維持管理コストの低減を両立させていることです。

【特長】

- ①自然の力を利用した構造・機構の採用により、いざというとき無動力での航路閉鎖を実現。
- ②平常時は海底に倒伏しているため、船舶航行・海水交換を阻害せず、周辺景観への影響が僅少。
- ③状態監視システムによる施設状態の見える化によって、予防保全にかかる負担の低減を実現。

●部署: 機械・インフラ本部 社会インフラ事業部 産業機械ビジネスユニット フラップゲートプロジェクトチーム ●TEL: 072-243-6829
●URL: <http://www.hitachizosen.co.jp/> ●営業時間: 8:30~17:30 ●FAX: 072-243-6794

担当者: 仲保京一、森井俊明、吉識電太

技術番号
497 ブース番号
F-17

現場状況監視業務における高度化、効率化

防災・安全等

技術番号
497 ブース番号
F-17

FUJITSU 富士通株式会社

従来の映像符号化「MPEG」と同時に高効率映像符号化「H.264」伝送を可能とすることで、現場監視業務のスムーズな高度化移行を実現



官公庁および自治体様で整備されている多くの監視カメラがアナログ方式(SD)となっており、今後ハイビジョン方式(HD)への移行をご検討されるなかで、カメラ本体のみならず、伝送装置の更新など既存設備の改造等が発生するため、単純移行が難しい状況にあります。

今回、ご紹介する伝送装置は、従来の映像符号化技術「MPEG」と高効率映像符号化技術「H.264」を同時に伝送できるため、既存の設備を大きく変えることなく、ハイビジョン方式への移行が容易となり、監視業務等の高度化や既存設備との共存も可能となります。

●部署: 富士通株式会社 東北社会ネットワーク営業部 ●TEL: 022-264-2133 ●FAX: 022-227-6587
●URL: <http://jp.fujitsu.com> ●営業時間: 8:40~17:30

担当者: 皆川 政徳

防災・安全等

技術番号
459 | ブース番号
F-01

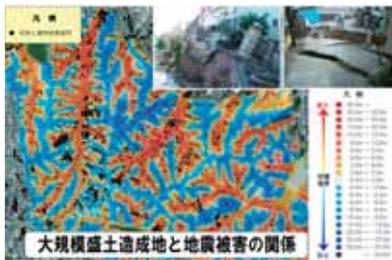
地震に強い街づくりのための耐震評価技術

防災・安全等

技術番号
459 | ブース番号
F-01

株式会社 復建技術コンサルタント

大地震に備えた丘陵地の造成宅地(谷埋め盛土区域)の耐震評価技術



東日本大震災では丘陵地の大規模盛土(谷埋め盛土)造成地で甚大な被害が発生しましたが、同じ盛土造成地でも被害が発生した箇所と無被害だった箇所とで明暗が分れました。この主たる要因として、地震動の増幅特性(地形や地質に起因)、盛土の性状(締固め状態)、緩い飽和砂質土層の液状化、構造物(擁壁等)の支持力不足等が挙げられます。このような被害メカニズムは造成宅地地盤図(切盛図)を基に、高密度三次元地震応答解析技術と現地調査・分析技術等の総合技術によって解明されます。本展示では、造成宅地地盤図と被害の関係から分類した被害要因とその分析結果を示し、大規模盛土造成地における防災・減災対策への助言を行います。

施工実績 宮城県、仙台市

●部署：保全2部 宅地災害復興支援プロジェクト室 ●TEL：022-217-2030 ●FAX：022-217-2036
●URL：http://www.fgc.jp/ ●営業時間：9:00～17:10

担当者：佐藤真吾

技術番号
460 | ブース番号
F-01

ナローマルチビームによる海底地形詳細調査

防災・安全等

技術番号
460 | ブース番号
F-01

復建調査設計株式会社

面的な計測を行うことで、広範囲で高性能な三次元データを取得することができ、成果のデジタル化が容易です。



海底地形

ナローマルチビーム

水深を測るナローマルチビーム測深機と船の位置データを測位するRTK-GPSおよび船の姿勢を測る慣性センサーを使って、高精度な測深ができます。その特長としては、①面データ取得による高性能で広範囲のデータが得られる、②鋭い音響ビームの送受信による詳細な地形や断面を一度に計測できる、③データの同時収録による測量成果の短時間出力ができる、④データのデジタル処理により水深図、鳥瞰図等の作成が簡単にできる、などが挙げられます。本調査は、海中構造物の形状調査、漁場調査、ダム堤体調査、微地形調査、堆砂状況調査、港湾深浅測量などに利用できます。

施工実績 ①大間地区広域漁場整備測量業務委託(発注者:青森県下北県民局地域農林水産部)
②八戸港深浅測量(発注者:国土交通省八戸港湾・空港整備事務所)
③寒河江ダム貯水池堆砂測量(発注者:国土交通省最上川ダム統合管理事務所)
④石巻港外災害調査(その2)業務委託(発注者:宮城県石巻港湾事務所)

●部署：復建調査設計株式会社 空間情報部(情報技術課) ●TEL：082-506-1831 ●FAX：082-506-1895
●URL：http://www.fukken.co.jp/ ●営業時間：9:00～17:30

担当者：大住典嗣
濱田卓治
森山 学

技術番号
294 | ブース番号
B-49

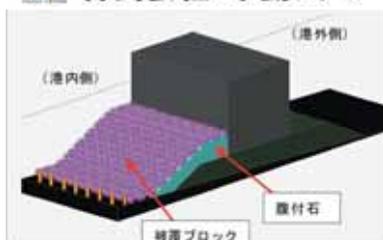
消波・根固めブロックを用いた粘り強い構造・工法

防災・安全等

技術番号
294 | ブース番号
B-49

株式会社 不動テトラ

地震に伴って発生する津波に対する海岸・港湾構造物の粘り強さを向上させるための技術である。



防波堤港内側マウンドのコンクリートブロックによる補強

1. 高安定型離岸堤：離岸堤が津波遡上高の抑制や海岸堤防への波力の低減効果を発揮できるように、離岸堤の消波ブロックを津波に対して安定性が高く粘り強くさせる技術である。
2. 防波堤港内側マウンドの補強：防波堤が粘り強さを発揮するためには、港内側マウンドを腹付石で嵩上げする方法が有効であるが、条件によっては、被覆石ではマウンドの安定性を確保できない。そこで、耐波性の高いコンクリートブロック、あるいは可撓性が大きい袋型根固め材によりマウンドを補強し、防波堤を津波に対して安定性が高く粘り強くさせる技術である。

●部署：株式会社不動テトラ 東北支店 ●TEL：022-262-3411 ●FAX：022-262-3416
●URL：http://www.fudotetra.co.jp ●営業時間：8:30～17:30

担当者：竹内聖一

技術番号
444 | ブース番号
E-04

ARC (アーキ) フェンス S (スノー) タイプ

防災・安全等

技術番号
444 | ブース番号
E-04

株式会社 プロテックエンジニアリング

積雪深3.0m、落石エネルギー50kJまでに適用可能な経済性、施工性、安全性に優れた落石兼用雪崩予防柵です。



ARC (アーキ) フェンス S (スノー) タイプは積雪3.0mまでの雪圧および落石エネルギー50kJを受けても十分耐力を持つ経済性・施工性・安全性に優れた進化をとげた次世代の落石兼用雪崩予防工法です。軽量部材のため人力施工が可能であり、自穿孔アンカーで係留するため斜面掘削・樹木伐採がほとんどありません。またワイヤネット構造で有るため透過性に優れ周囲の景観を損ねません。従って環境保護のため森林伐採が困難、民家裏など用地確保が困難、落石発生が懸念される雪崩対策箇所に最適です。

施工実績 国道289号災害防除工事(福島県南会津郡只見町地内)
湯川ダム建設事務所(栃木県日光市西川地先)

●部署：本社 開発営業部、東北営業所 ●TEL：本社 025-278-1551 東北営業所 022-748-4823 ●FAX：本社 025-278-1559 東北営業所 022-748-4824
●URL：http://www.proteng.co.jp ●営業時間：8:30～17:00

担当者：本社 渡邊 稔、東北営業所 小泉

技術番号
445 E-04

NETIS: HR-20009-A

三角フェンス (TNF) 工法

防災・安全等

技術番号
445 E-04

株式会社 プロテックエンジニアリング



積雪深6.0m、落石エネルギー400kJまで可能な高性能で環境負荷低減型の落石兼用雪崩予防柵です。

斜面雪圧および落石エネルギーをワイヤーロープで編み上げた三角形のネットで受け効率よく荷重・エネルギーを吸収し落石を逃さず捕捉することが可能な工法です。軽量部材で人力建て込みが可能、アンカーで係留するため地表面に頑固な基礎地盤を必要としません。斜面掘削が無く樹木の伐採が最小限、またワイヤネット構造で有るため透過性にも優れ景観性に優れた環境負荷軽減型の工法です。

施工実績 酒田河川国道事務所、横川ダム工事事務所、津軽ダム工事事務所、胆沢ダム工事事務所 月山ダム管理所 他11件

●部署: 本社 開発営業部、東北営業所 ●TEL: 本社 025-278-1551 東北営業所 022-748-4823 ●FAX: 本社 025-278-1559 東北営業所 022-748-4824
●URL: <http://www.proteng.co.jp> ●営業時間: 8:30~17:00

担当者: 本社 渡邊 稔、東北営業所 小泉

技術番号
659 I-36

揺動反射標識(ダンシング棒)

防災・安全等

技術番号
659 I-36

有限会社 邦和産業

揺動反射標識(ダンシング棒)は取付治具と反射体をスプリングで接続し、車両の走行風圧や風で揺動し昼は反射材が光を反射し、夜は車両のライトで光り安全走行に寄与致します。

揺動反射標識(ダンシング棒)は取付治具と反射体をスプリングで接続し、カラーコーンの天部や単管バリケード中央部に治具又はクランプで固定しますが、治具やクランプの接続に金属スプリングを使用している為上部の反射体は車両の走行風圧や風で揺動し、昼は反射材が光を反射し、夜は車両のライトで光りながら反射体が揺れる為ドライバーの目に留りやすく、走行車線の変更等にも反射材が揺れて確認し易い為安全走行に寄与致します。

●部署: 有限会社 邦和産業 ●TEL: 022-288-9677 ●FAX: 022-288-9626
●URL: <http://www.houwa-sangyo.jp/> ●営業時間: 8:30~5:30

担当者: 中鶴間邦昭 鶴田等

技術番号
660 I-36

からまん旗

防災・安全等

技術番号
660 I-36

有限会社 邦和産業

工事現場で車両を規制するガードマンが使う旗です。降雨時に旗布が旗棒に絡み付き夕方などは、止まれか、進めかわかりにくい、旗の絡み付きを解消しました。

工事現場周辺の交通規制をする際、ガードマンがドライバーに知らせる色付旗ですが、従来品は降雨時に旗布が旗棒に絡み付き夕方などはドライバーが確認しにくい点を解消する為、次の点を改良しました。旗棒の上部に横棒を取り付け逆L字の形状で旗は常に開くことでドライバーに対する注意喚起をすることで事故防止に寄与出来るおもいます。又、旗を収納する為横棒の取り付けベースにヒンジが取り付け有りヒンジの解消により横棒がたたまれ収納されます。

●部署: 有限会社 邦和産業 ●TEL: 022-288-9677 ●FAX: 022-288-9626
●URL: <http://www.houwa-sangyo.jp/> ●営業時間: 8:30~5:30

担当者: 中鶴間邦昭 鶴田等

技術番号
539 F-34

災害用トイレ ETカバー / ETルーフ

防災・安全等

技術番号
539 F-34

北勢工業株式会社 仙台営業所



災害時におけるライフラインを確保するETカバー

E・T COVERとは

1995年1月17日早朝に起きた阪神淡路大震災では、被災された方々はトイレに大変不自由な思いをされました。北勢工業はこの教訓を生かして二度と同じパニックを起こさないように広域避難所付近に事前に設置する、万一の災害発生時も開蓋すればマンホールが即トイレとして使用できるマンホール型で、災害時対応のトイレ蓋(E・T COVER)を開発しました。

施工実績 三本木 道の駅 ・ 東松島市 ・ 名取市 ・ 仙台市

●部署: 北勢工業(株) 仙台営業所 ●TEL: 022-231-7480 ●FAX: 022-231-7481
●URL: <http://www.hokusei-kogyo.co.jp> ●営業時間: 8:30 ~ 17:30

担当者: 二川章夫・小山勝敏・柿崎直樹

技術番号
540 F-35

NETIS : TH-99039-A (SIMAR)

前田建設の液状化対策技術

防災・安全等

技術番号
540 F-35

前田建設工業株式会社

安全・安心な社会をつくる
前田建設の液状化対策技術



安全・安心な社会をつくる前田建設の地盤の耐震補強・液状化対策工法、マルチジェット工法・SIMAR工法・MAGAR工法

●マルチジェット工法 大口径任意形状の地盤改良 揺動式高圧噴射攪拌工法。硬化材をエアータンクとも超高压 (40MPa) で噴射し、大口径・任意形状の地盤改良体を造成する工法である。
●SIMAR/シマール工法 砂質土地盤の液状化対策、吸水型振動棒締固め工法。液状化対策工法として従来から行われている振動棒締固め工法 (ロッドコンパクション) に吸水機構を付加することで、締固め改良効果を飛躍的に向上させた工法である。
●MAGAR/マガール工法 既設構造物直下の地盤改良、自在ボーリングによる薬液注入工法。高精度の位置感知システムで計測を行ないながら、自由な方向に削孔を行なう自在ボーリング技術を用いた工法である。

●部署 : 前田建設工業株式会社 経営管理本部 総合企画部
●URL : <http://www.maeda.co.jp/>

●TEL : 03-5217-9514 ●FAX : 03-5217-9614
●営業時間 : 8:30~17:30

担当者 : 堂森 宏三

技術番号
561 F-46

NETIS : KT-060144-V

耐候性大型土のう「ツートンバッグ」

防災・安全等

技術番号
561 F-46

前田工織株式会社



ツートンバッグは、財団法人土木研究センターによる「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル性能証明書を取得した製品です。

ツートンバッグは、財団法人土木研究センター発行「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアルに適合し、性能証明書を取得した製品です。「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアルでは、生地の耐久性や環境適合性、袋体構造として圧縮強度や耐衝撃などが定められ、従来の基準であった「災害復旧事業等における耐候性大型土のう設置ガイドライン」と比較し試験項目が大幅に増加しています。ツートンバッグは、容量1m³、中詰最大質量は20kNの大型土のうで、紫外線に対する耐久性に優れています。耐用年数に応じて短期仮設 (1年) 対応タイプ、長期仮設 (3年) 対応タイプがあり、工事に求められている耐用年数によって適合する製品仕様が選べます。また、ツートンバッグはNETIS設計比較対象技術にも指定されています。

施工実績 仙台南部海岸緊急復旧工事 (仙台河川国道事務所)、雄物川上流間倉地区盛土工事 (湯沢河川国道事務所)
東北地方整備局管内でも多数実績があります。

●部署 : 前田工織株式会社仙台支店
●URL : <http://www.maedakosen.jp/>

●TEL : 022-726-6670 ●FAX : 022-726-6671
●営業時間 : 9:00~17:45

担当者 : 山口

技術番号
083 A-42

ポータブル・ソーラーLED照明灯

防災・安全等

技術番号
083 A-42

三井住友建設 株式会社



「ポータブル・ソーラーLED照明灯」太陽光発電を使用した商用電源を不要とする環境に優しい移動式照明装置

ポータブル・ソーラーLED照明灯は、太陽光発電装置と蓄電池、LED照明によって構成される、商用電源が不要な移動式照明設備です。明るさを感じて、自動的に点灯、消灯出来ます。当社ならびに関連会社のSMCテック(株)が開発し、実用化しました。震災後には、南三陸町の国道45号線の街路灯や被災地避難所等に40台程度を搬入し、真っ暗な街や避難所の通路を明るく照らし、住民の安全、安心確保に貢献しました。尚、本技術はその功績により、環境省「省エネ・照明デザインアワード2011」において、審査員特別賞を受賞しています。

施工実績 南三陸町、気仙沼、山田町、大槌町、仙台市の被災地避難所等

●部署 : 三井住友建設株式会社 広報室
●URL : <http://www.smcon.co.jp/>

●TEL : 03-4582-3015 ●FAX : 022-225-6762
●営業時間 : 8:45~17:45

担当者 : 平田 豊彦

技術番号
641 I-24

プレキャスト塀

防災・安全等

技術番号
641 I-24

横江コンクリート株式会社



プレキャスト製で基礎一体型となったコンクリート塀。

【安全・安心】基礎一体形状とすることにより、地震時の転倒・倒壊を防ぎます。
【工期短縮】工場にて製造するので、天候に左右されず仕上りがきれいです。また、重機施工をすることにより工期短縮にも貢献します。
【景観への配慮】様々な化粧を施すことによって、従来のコンクリート塀にはなかった美観・仕上りを実現いたします。

●部署 : 開発営業課
●URL : <http://www.yokoe.info>

●TEL : 0229-52-3935 ●FAX : 0229-52-2321
●営業時間 : 8:00~18:00

担当者 : 佐藤 智昭、横江 重徳

技術番号
486

ブース番号
F-12

NETIS : QS-080010-A

ハイジュールネット工法

防災・安全等

技術番号
486

ブース番号
F-12

ライト工業株式会社



補修が容易で維持管理コストを大幅に削減できる高エネルギー吸収型落石防止柵

ハイジュールネット工法は、250~3,000kJの幅広い落石エネルギーに対応可能な落石防止柵である。本工法は、柵支柱基礎の施工から土工事をなくす等、初期建設コストの圧縮ばかりでなく、落石発生後の補修費用の圧縮、補修方法の簡便化にも着目し、落石被害のダメージの大きい部分のみの交換で本来の機能を戻すことを可能としている。

施工実績 栗駒ダム落石対策工事(宮城県北部地方振興事務所)

●部署 : 東北統括支店 技術営業部
●URL : <http://www.raito.co.jp>

●TEL : 022-295-6555 ●FAX : 022-257-2363
●営業時間 : 8:45~17:15

担当者 : 峯岸 雄一

技術番号
528

ブース番号
F-30

NETIS : KT-100110-A

安全建設気象モバイルKIYOMASA

防災・安全等

技術番号
528

ブース番号
F-30

LBW株式会社ライフビジネスウェザー



**NETIS唯一の気象予測！！
現場の空をお守りする 安全・工程管理の決定版！**

- ・現場専用の携帯・PCサイトを作成し、1kmメッシュのピンポイント予測を配信
- ・局地豪雨は、5地点まで監視でき、河川の増水や土砂崩れの雨量基準を設定可能
- ・風は、最大瞬間風速まで予測し、機材の転倒防止や粉塵飛散への配慮が可能
- ・落雷・竜巻は、リアルタイムで監視し、危険性が高い場合は直ぐにアラームを送信
- ・熱中症は、気流や輻射熱を考慮したWBGTで判断し、具体的な対応策まで表示
- ・注意喚起メールで事前に天気急変を知る事ができ、復旧工事では二次災害を防止
- ・1時間毎の天気や1mm単位の降水予測で、コンクリート打設などの工程管理に活用

施工実績 全国2500現場以上の実績のうち、東北地方整備局112件 東北地方の自治体75件

●部署 : 営業部
●URL : <http://kiyomasa.lbw.jp/>

●TEL : 03-3668-6142 ●FAX : 03-3668-6145
●営業時間 : 24時間年中無休

担当者 : 佐藤・櫻本・高橋

技術番号
529

ブース番号
F-30

NETIS : KT-100110-A

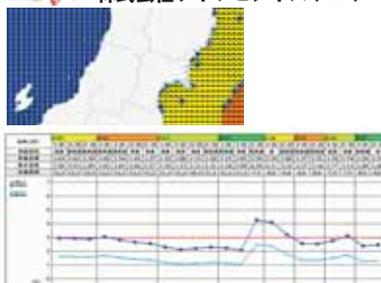
安全建設気象モバイルKIYOMASA"KAIHO"

防災・安全等

技術番号
529

ブース番号
F-30

LBW株式会社ライフビジネスウェザー



**海洋土木工事向けの新技术★
一週間先までの海を見通す 詳細気象・海象予測&警報システム**

- ①最大一週間先までの波の予測をグラフとマップで表示
- ②グラフ上で波や風が、いつ作業中止基準を超えるかを一発判断
- ③波は有義・最大波と周期、風は平均風速だけでなく最大瞬間風速まで表示
- ④作業・出航場所などピンポイントで3地点登録でき、沿岸100kmまで対応
- ⑤台風・津波・防災情報などの専門情報で、現場の安全を支援
- ⑥海上警報や高波・高潮等の警報を直ちにメールで通知
- ⑦波や風は、中止基準値以上で決まった時間にメール配信され、作業可否判断に有効

施工実績 全国100地点を超える実績。石巻港や釜石港など、岩手・宮城・福島での災害復旧工事で活躍中。

●部署 : 営業部
●URL : <http://kiyomasa.lbw.jp/>

●TEL : 03-3668-6142 ●FAX : 03-3668-6145
●営業時間 : 24時間年中無休

担当者 : 佐藤・櫻本・高橋

技術番号
530

ブース番号
F-30

NETIS : KT-100110-A

安全建設気象モバイルKIYOMASA 強化プラン

防災・安全等

技術番号
530

ブース番号
F-30

LBW株式会社ライフビジネスウェザー



**◆◆地震・津波・粉塵・帳票出力等の対策強化を支援◆◆
「KIYOMASA強化プラン」で圧倒的な差別化を！**

【地震】全国約4200か所の震度計情報(一般的な情報の約4倍)を活用。従来の市区町村単位の震度情報と異なり、現場の正確な震度を表示しメールで配信。夜間・休日、現場から離れていても現場の震度がわかり、迅速な初動を支援。

【津波】警報が発表された場合、ただちに「津波アラート」を発信。確実にメールを受信できるよう、定期的にテストメールを配信し受信状況を確認。有事の際に役立つツール。

【粉塵】現場ピンポイントの風・降水予測等から、砂塵・粉塵の飛びやすさを発表。周辺環境対策に効果的。

【帳票出力】KIYOMASAで表示した過去データをグラフや表へ。発注者へ説得力のある資料・履行証明を約束。

●部署 : 営業部
●URL : <http://kiyomasa.lbw.jp/>

●TEL : 03-3668-6142 ●FAX : 03-3668-6145
●営業時間 : 24時間年中無休

担当者 : 佐藤・櫻本・高橋

防災・安全等